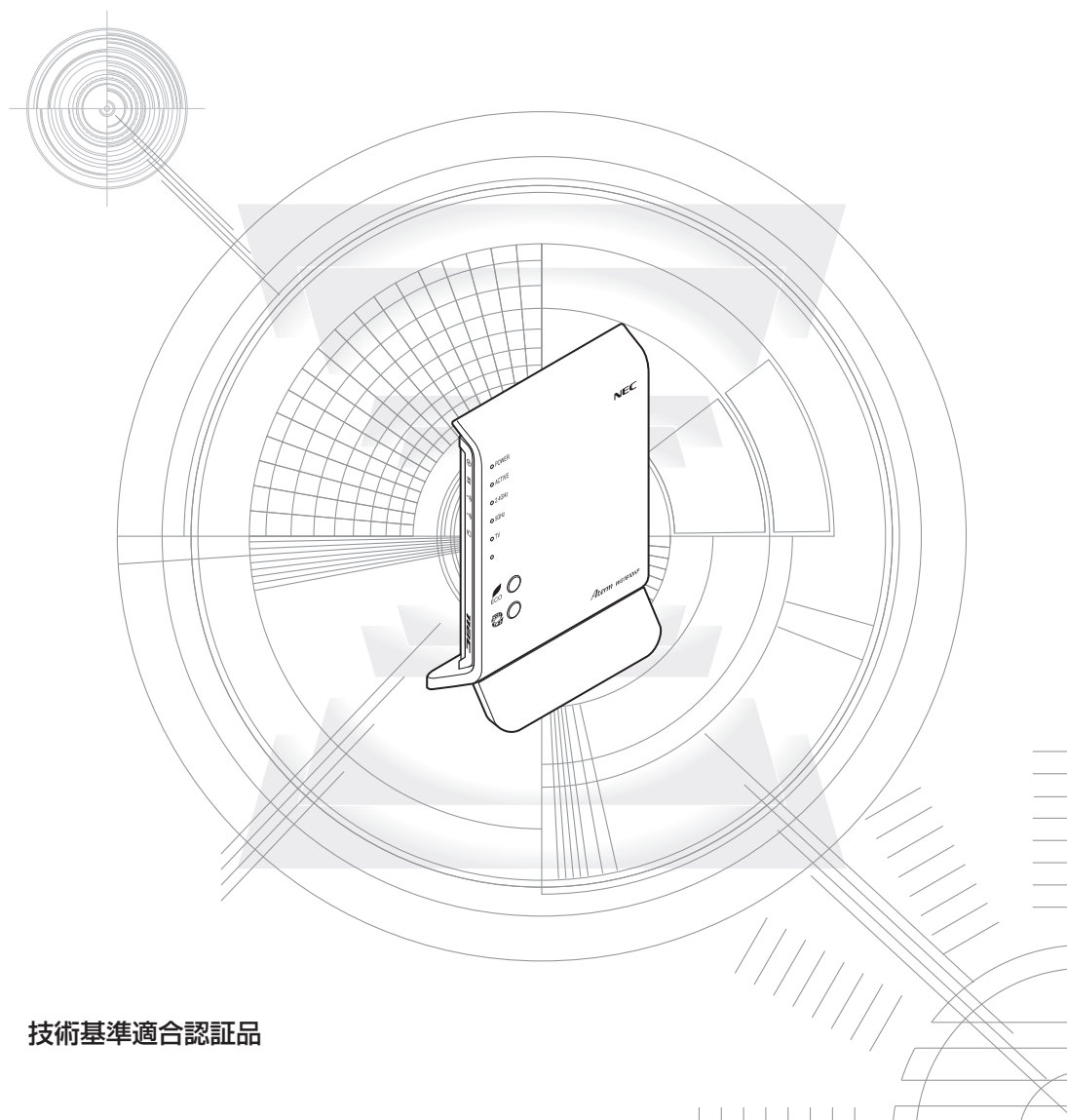


NEC

Aterm[®] WG1810HP(JE)

取扱説明書



技術基準適合認証品

はじめに

このたびは Aterm (エーターム) シリーズをご利用いただき、まことにありがとうございます。

Aterm WG1810HP (JE) (以下、本商品と呼びます) は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b の無線 LAN 規格に準拠した Wi-Fi (無線 LAN) ホームルータです。

本商品のマニュアルでは本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド (小冊子)

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書 (本書)

本商品の基本機能について説明しています。



ユーザーズマニュアル (HTMLファイル)

本商品のさまざまな機能を利用してできることをわかりやすい操作・設定手順で説明しています。

サポートページ (<http://www.aterm.jp/v6mig/>) からご覧ください。(2016 年 9 月現在)

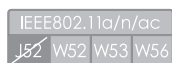


お知らせ

●本書では、Windows 10 の画面を主な例に、本商品の設定手順を説明しています。

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャンネルは 36,40,44,48ch (W52) と 52,56,60,64ch (W53) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) です。本商品としては、従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。



・ W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)、
W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)、
W56 (5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- ・ W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)
- ・ W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)
- ・ W56 (5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
- W53 (52/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・ 各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。
- Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



IEEE802.11b/g/n

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャンネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として、CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならぬ場合はこの限りではありません。
(使用チャンネルの設定方法は「📖 ユーザーズマニュアル」を参照してください。)
- デュアルチャンネル / クワッドチャンネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 - ・ デュアルチャンネル / クワッドチャンネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 - ・ 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート、らくらく QR スタート、らくらく「かざして」スタート、こども安心ネットタイマーは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、WPA および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Windows、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista はオペレーティングシステムです。
- Mac、Macintosh、Mac OS、OS X、AirMac、iPad、iPhone、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Firefox[®] は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「PlayStation」、[プレイステーション]、[PS3] および「PSP」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。「PS4」は同社の商標です。また、「プレイステーション 3」、「プレイステーション 4」、「PSP[®]」「プレイステーション・ポータブル」および「PlayStation[®]Vita」は同社の商品です。
© Sony Interactive Entertainment Inc.
- Wii・ニンテンドー DS・ディエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。
- Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2016

NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページ「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信は切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用は、お客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（「使用する」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（「使用する」のチェックを外す）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

<停止方法>

- ① クイック設定 Web を起動する
- ② 「詳細設定」－「その他の設定」を選択する
- ③ 【補助設定】にある【メンテナンスバージョンアップ機能】の【使用する】のチェックを外す
- ④ 【設定】をクリックする
- ⑤ 【保存】をクリックする

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明



警告

:人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

:人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い

:本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



一般注意



発火注意



感電注意



高温注意



破裂注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



風呂等での
使用禁止



火気禁止

■ 行為を指示する記号



一般指示



電源プラグをコンセントから抜け



警告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。



警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用するとう火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。



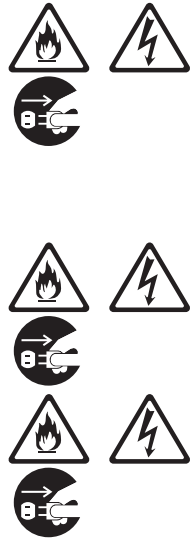
こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。



⚠ 警 告

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。











禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。













警告

その他の注意事項




- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となる場合があります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注 意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



⚠ 注 意

- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。



禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



その他の注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

STOP お願い

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他の注意事項

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお勧めします。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは [Wi-Fi 詳細設定 (2.4GHz)] および [Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)]、PIN コードは [WPS 設定] の画面で変更してください。

目次

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について	5
安全にお使いいただくために必ずお読みください	6
目次	16
本商品でできること	19
各部の名称とはたらき	27
WG1810HP (JE) (前面／側面表図)	27
WG1810HP (JE) (背面／側面裏図)	29
あらかじめ確認してください	30
回線契約とプロバイダの加入について	30
パソコンの準備	30
1 章 設置する	
1-1 設置する	1-2
2 章 設定する	
2-1 クイック設定 Web で設定する	2-2
設定できる WWW ブラウザ	2-2
クイック設定 Web を利用するための準備	2-3
クイック設定 Web の起動のしかた	2-4
ポップアップヘルプについて	2-5
2-2 Wi-Fi を設定する	2-6
マルチ SSID について	2-7
2-3 Wi-Fi 対応のゲーム機から接続する	2-9
2-4 iPad/iPhone/iPod touch から接続する	2-11
2-5 スマートフォン／タブレット端末から接続する	2-13
らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する	2-13
らくらく QR スタートで Wi-Fi 接続する	2-13
2-6 パソコンなどから Wi-Fi を簡単に設定する	2-16
らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を使用して	
Wi-Fi 設定する	2-16
WPS 機能を使用して Wi-Fi 設定する	2-17
2-7 Windows 10/8.1/7 および Windows Vista を「ワイヤレスネットワーク接続」で手動で設定する	2-19
Windows 10 の場合	2-20
Windows 8.1 の場合	2-24
Windows 7 の場合	2-28
Windows Vista の場合	2-34
本商品との通信状態を確認するには	2-39

3章 セキュリティ対策をする

- 3-1 セキュリティ機能について 3-2
- 3-2 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を設定する 3-8
 - 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能の設定 3-9
 - ブロックレベルカスタム設定 3-14
 - 例外サイトを登録する 3-15
 - ブロック画面の一時解除方法 3-16

4章 便利な機能

- 4-1 USB ポートのご利用について 4-2
 - USB デバイスを取り付けるとき 4-2
 - アクセス方法 4-4
 - アクセス権限を設定する 4-5
 - メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する 4-7
 - USB ファイルHTTP 公開機能（ブラウザファイル共有機能） 4-9
 - USB カメラ機能 4-12
 - USB デバイスを取り外すとき 4-15
- 4-2 ECO モードにする 4-16
 - ECO モードでの制限内容（ECO 設定パターン） 4-16
 - ECO モードを起動する 4-17
 - ECO モード起動中のランプ状態 4-17
 - オート ECO モード機能 4-19
- 4-3 こども安心ネットタイマー機能 4-20
 - こども安心ネットタイマーの設定 4-20
- 4-4 その他の機能 4-25
 - PPPoE ブリッジ機能 4-25
 - IP パケットフィルタリング機能 4-26
 - ポートマッピング機能 4-26
 - LAN 側ジャンプフレーム透過機能 4-26

5章 トラブルシューティング

- 5-1 トラブルシューティング 5-2
 - 設置に関するトラブル 5-2
 - ユーティリティに関するトラブル 5-8
 - ご利用開始後のトラブル 5-10

6章 メンテナンス

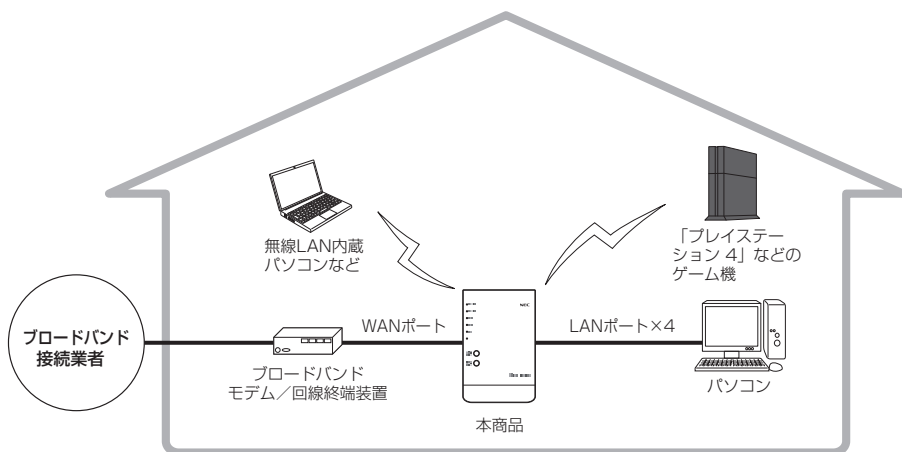
- 6-1 バージョンアップする 6-2
 - ファームウェアをバージョンアップする 6-2
- 6-2 初期化する 6-6
 - クイック設定 Web で初期化する 6-6
 - RESET スイッチで初期化する 6-7

7 章 付録

7-1	製品仕様	7-2
	ハードウェア仕様	7-2
7-2	マニュアルで使用している用語に ついて	7-5
7-3	索引	7-7
よくあるお問い合わせ		7-9

本商品でできること

本商品は、FTTH 回線終端装置に接続して、複数の機器で同時にインターネットを利用できる Wi-Fi ブロードバンドルータです。



■ Wi-Fi 通信

- IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b に対応した子機と Wi-Fi 通信を行うことができます。

※ 子機は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

- W52 帯、W53 帯、W56 帯対応

本商品は 5GHz 帯 (W52、W53、W56) に対応しており、5GHz 帯で 19 チャネルがご利用になれます。

タイプ	チャネル	周波数帯域
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz)

ただし、W52 帯、W53 帯、W56 帯でご利用になるには、ご利用の子機が W52 帯、W53 帯、W56 帯に対応している必要があります。

J52 帯を使用する子機とは通信できません。

■ Wi-Fi 通信

- **5GHz 通信 (IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a) と 2.4GHz 通信 (IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b) を同時に利用できます。**

2 台の子機で、5GHz (IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a) と 2.4GHz (IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b) のそれぞれの Wi-Fi 通信モードを占有して通信をしたり、電波状態の良い Wi-Fi 通信モードで通信したりすることができます。

また 5GHz と 2.4GHz それぞれに電波出力、ネットワーク名 (SSID)、暗号化キー、ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)、MAC アドレスフィルタリングの設定をすることができます。

※子機から 5GHz モードに Wi-Fi 接続する際は、5GHz のネットワーク名 (SSID) を選択してください。

なお、「らくらく無線スタート」での Wi-Fi 設定は、工場出荷時の状態では、2.4GHz モードに設定されています。

「らくらく無線スタート」で 5GHz モードの Wi-Fi 設定を行う場合は、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 基本設定」で「Wi-Fi 自動設定動作モード」を「5GHz」に変更してから、接続設定してください。

(ただし、子機 WG2600HP/WG2200HP/WG1800HP2/WG1800HP/WG1400HP/WG1200HP/WF1200HP2/WF1200HP、子機 WR9500N、WL300NE-AG の場合は、工場出荷時の状態であれば、5GHz に優先的に接続できます。)

- **デュアルチャネル機能**

本商品では、Wi-Fi 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、約 2 倍の通信速度を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する (自動切替)」)

本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯 (計 13 チャンネル) です。(📖ユーザーズマニュアル)

- **クワッドチャネル機能**

本商品では、Wi-Fi 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 80MHz 幅に拡大することにより、約 4 倍の通信速度を実現するクワッドチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する」) 本商品でクワッドチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、IEEE802.11ac の 5GHz 帯のみです。(📖ユーザーズマニュアル)

- **オートチャネルセレクト機能**

本商品の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯および 5GHz 帯のそれぞれで電波状態の良いチャネルを自動選択します。(初期値は「使用する」)

5GHz 帯では、工場出荷時状態は W52 のみサーチするように設定されていますが、設定を変えることにより、W53、W56 もサーチ対象帯域に加え、最大 19 チャンネルから自動選択させることが可能です。(📖ユーザーズマニュアル)

※デュアルチャネル有効設定時は、2.4GHz 帯 (計 11 チャンネル) から選択されます。

※クワッドチャネル有効設定時は、5GHz 帯の W52 (1 チャンネル)、W53 (1 チャンネル)、W56 (計 2 チャンネル) から選択されます。

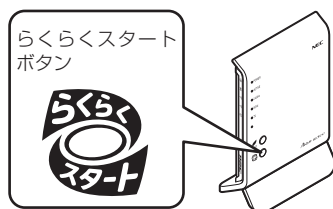
対象となる周波数帯域を指定したい場合は、あらかじめサーチ対象帯域を指定してください。

※Wi-Fi ネットワーク内に 5GHz 帯の W53、W56 が利用できない子機が 1 台でもある場合は、サーチ対象帯域に W53、W56 を加えないようにご注意ください。

■ Wi-Fi を簡単に設定する

● らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX

らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX とは、本商品にあるらくらくスタートボタンの操作で、Wi-Fi の接続設定 (SSID・暗号化キーなどの設定) を簡単に行える機能です。(●P2-16)



● WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPS に対応した Wi-Fi の自動設定を行うことができます。(●P2-17)
設定方法には、らくらくスタートボタンによる設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、子機側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した Wi-Fi の接続・セキュリティの設定を簡単にを行うための規格です。

■ マルチ SSID 機能

本商品には、3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があり、それぞれに異なる設定(セキュリティなど)をすることができます。(●P2-7)
また、これらの SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な子機と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な子機が共存可能です。
通常は、「オーナー SSID」に接続してください。

■ 子機の増設

● 子機を増設する (📖ユーザーズマニュアル)

子機として次の機器 (別売り) を増設することができます。

※接続する子機によって通信速度が異なります。

< IEEE802.11ac、IEEE802.11n/a/g/b 通信 >

WL900U/WG2600HP (※) /WG2200HP (※) /WG1800HP2 (※) /
WG1800HP (※) /WG1400HP (※) /WG1200HP (※) /WF1200HP2 (※) /
WF1200HP (※) /W1200EX W1200EX-MS (※) /W500P (※)

< IEEE802.11n/a/g/b 通信 >

WL450NU-AG/WL300NU-AG/WL300NE-AG/WR9500N (※)

< IEEE802.11n/g/b 通信 >

WL300NU-GS

(※) Wi-Fi 子機 (CONVERTER) モードでご使用ください。ただし、WG1200HP および W500P の場合、
らくらく無線スタートはご利用できません。

● 無線 LAN 内蔵パソコンを接続する

本商品が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。(パソコンの機種により、機能制限や接続できない場合があります。)

● ゲーム機を Wi-Fi 接続する

Wii U、ニンテンドー 3DS、「プレイステーション 4」、PlayStation®Vita および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。(🔌P2-9)

● スマートフォン／タブレット端末を Wi-Fi 接続する

Android 端末や iOS を接続することができます。

● プリンタを Wi-Fi 接続する

無線 LAN 対応のプリンタを Wi-Fi 接続できます。

■ セキュリティ対策をする

本商品には、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能と、Wi-Fi ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないためのセキュリティ機能、送信元を詐称したアクセスを防ぐセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティ対策を行うことができます。(🔌P3-2、📖ユーザーズマニュアル)

■ ネットワーク分離機能

マルチ SSID (🔌P2-7) のそれぞれのネットワークに接続した子機や、有線で接続されたパソコン、USB カメラ、USB ストレージへのアクセスを制限し、本商品に接続した他のネットワークから分離することができます。(🔌P3-7)

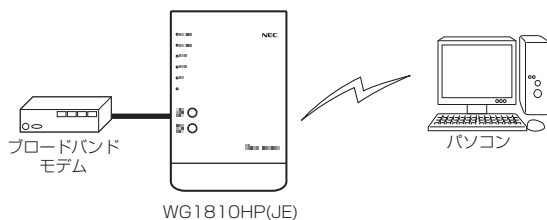
なお、WAN 側が分離されることはありません。

■ 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能は、アルプス システム インテグレーション株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」に対応する機能です。アルプス システム インテグレーション株式会社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末にブロックレベルを設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。（☛P3-8）

■ TV モードに対応

本商品に Wi-Fi 接続した TV モードに対応のパソコンや TV で、安定したストリーミング画像を視聴することができます。（☞ユーザーズマニュアル）

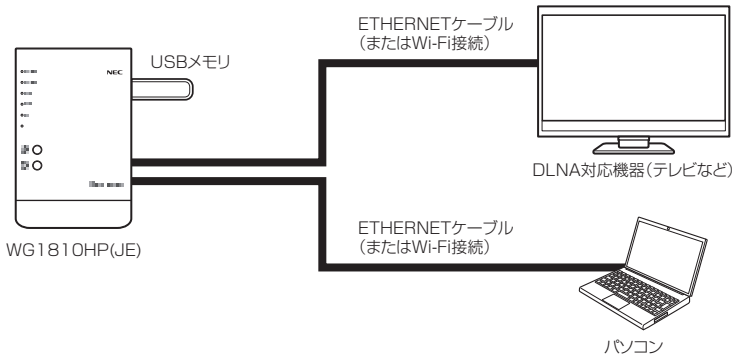


■ USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルを共有する

本商品の USB ポートでは、接続した USB デバイスに本商品の LAN 側や WAN 側からアクセスして、ファイルを共有することができます。また、USB ポートに USB カメラを接続すれば、WAN 側から WWW ブラウザで画像を表示することができます。(☛P4-2)

●メディアサーバ機能

本商品の USB ポートに接続した USB メモリや外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、本商品の LAN 側に接続した DLNA 対応機器で視聴することができます。(☛P4-7)



●USB ファイル HTTP 公開機能 (ブラウザファイル共有機能)

本商品に接続した USB デバイスのファイルをパソコンなどの WWW ブラウザで開くことができます。(☛P4-9)

●USB カメラ機能

本商品の USB ポートに接続した USB カメラの画像を WWW ブラウザで表示することができます。(☛P4-12)

■ECO モード

●ECO モードに設定する (☛P4-16)

本商品の一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。

●LAN ポート自動節電機能

未使用の LAN ポートを自動判別して、消費電力を削減します。

●省電力型イーサネット (EEE) 機能

IEEE802.3az Energy Efficient Ethernet 準拠の省エネ機能です。イーサネット (LAN 通信) のデータの送受信がないアイドル (待機) 状態のときに、自動的に低消費電力モードになります。

設定は、クイック設定 Web の「ECO モード設定」 - 「ECO モード設定」の「省電力型イーサネット (EEE) 機能」で行います。(初期値:「使用しない」)

※ 本機能を使用する場合は、通信する対向機もこの機能に対応している必要があります。

■ WoL (Wake on LAN) 機能

外出先など離れている場所からインターネット経由で、本商品の LAN ポートに接続したパソコンを起動することができます。(☎ユーザーズマニュアル)

※ご利用のパソコンが WoL 機能 (AMD Magic Packet Format) に対応している必要があります。

■ こども安心ネットタイマー機能

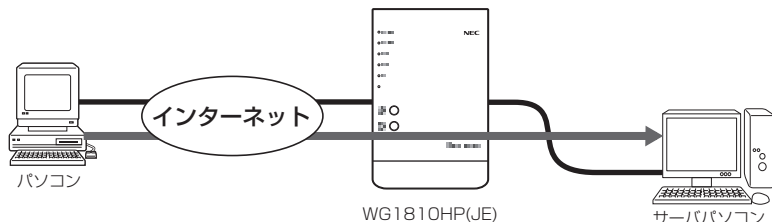
「こども安心ネットタイマー」を使うと、本商品へ Wi-Fi 接続するスマートフォン・タブレット・ゲーム等の端末ごとに接続できる時間帯を制限できます。

保護者の方がお子様のインターネット接続を管理したいときに便利な機能です。(☎P4-20)

■ SOHO で使用するとき便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する (☎ユーザーズマニュアル)

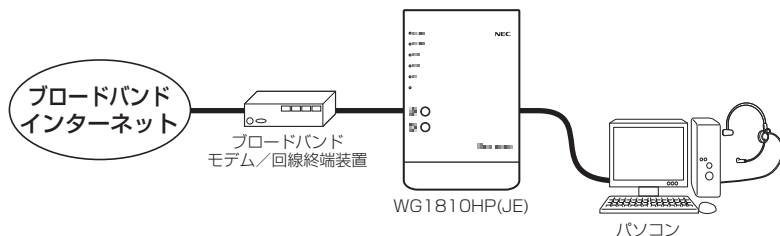
ポートマッピング機能 (アドバンスド NAT オプション) を利用して外部にサーバを公開できます。



■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

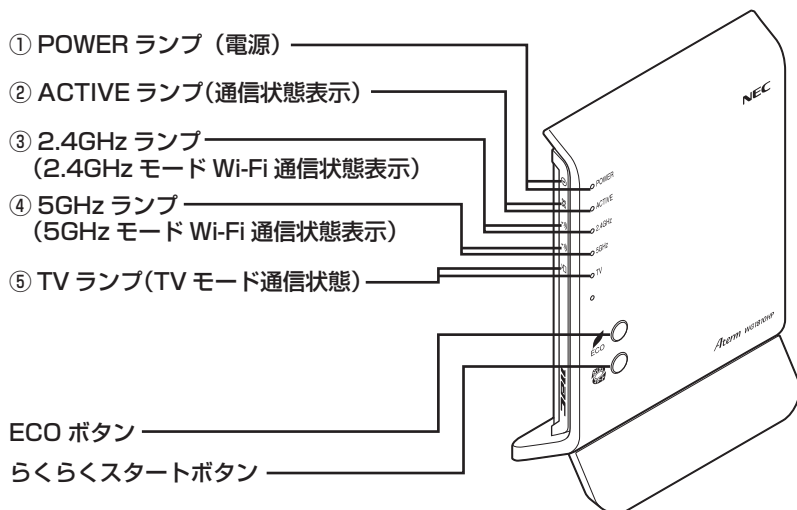
次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

- ・ PPPoE ブリッジ機能 (☎P4-25)
- ・ ポートマッピング機能 (☎ユーザーズマニュアル)



各部の名称とはたらき




WG1810HP (JE) (前面／側面表図)



※ 本商品の電源を入れるといったん前面／側面（表）のすべてのランプが緑点灯します。

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	状態
① POWER ランプ (電源) ①	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	緑 (点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき
	緑 (遅い点滅)	ECO モード起動中
	緑橙 (点滅)	WPS で Wi-Fi 設定中
	橙 (点灯) (※ 1)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		WPS で Wi-Fi 設定が完了したとき
	赤 (点滅)	USB ポートに接続したデバイスにデータを書き込んでいるとき
		らくらく無線スタートで設定をしているとき
		らくらく無線スタートに失敗したとき
② ACTIVE ランプ (通信状態表示) (※ 2) ②	消灯	初期化準備状態
	消灯	WPS で Wi-Fi 設定が失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき
③ 2.4GHz ランプ (2.4GHz モード Wi-Fi 通信状態表示)	緑 (点灯)	WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	消灯	WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき
④ 5GHz ランプ (5GHz モード Wi-Fi 通信状態表示)	緑 (点灯)	WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	消灯	WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき
⑤ TV ランプ (TV モード通信状態)	緑 (点灯)	WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	消灯	WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	状態
③ 2.4GHz ランプ (2.4GHz モード Wi-Fi 通信状態表示) (※ 2) 	緑 (点灯)	2.4GHz モードで通信可能なとき
	緑 (速い点滅)	2.4GHz モードでデータ送受信しているとき
	消灯	Wi-Fi を使用していないとき
④ 5GHz ランプ (5GHz モード Wi-Fi 通信状態表示) (※ 2) 	緑 (点灯)	5GHz モードで通信可能なとき
	緑 (速い点滅)	5GHz モードでデータ送受信しているとき
	赤 (点滅)	5GHz モードで W53、W56 を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波 (レーダー波) がないか検出しているとき
⑤ TV ランプ (TV モード通信状態) (※ 2) 	緑 (点灯)	TV モードを「使用する」に設定しているとき
		TV モードを「自動」に設定して、TV モードに対応した機器とリンクが確立しているとき
	赤 (点滅)	5GHz モードで W53、W56 を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波 (レーダー波) がないか検出しているとき
	消灯	TV モードになっていないとき

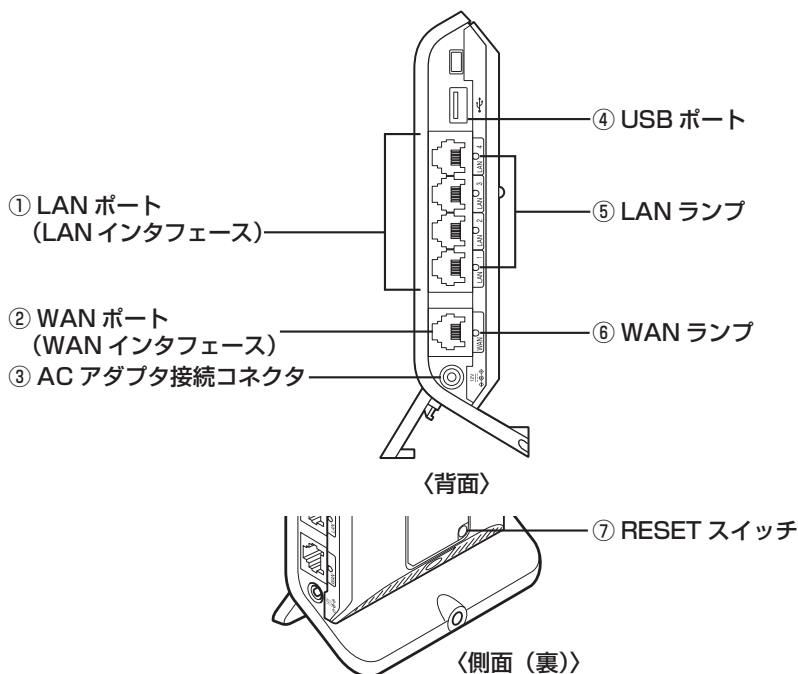
(※ 1) ファームウェアまたは設定情報を自動的に書き換えている場合も、POWER ランプが橙点灯しますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

(※ 2) ECO モード起動中は消灯します。

【設定ボタン】

名 称	説 明
ECO ボタン	ECO モードに設定するときに使用します。
らくらくスタート ボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。
	WPS で Wi-Fi 設定するときに使用します。

WG1810HP (JE) (背面／側面裏図)



名 称	説 明	
① LAN ポート (LAN インタフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
② WAN ポート (WAN インタフェース)	ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続します。	
③ AC アダプタ接続コネクタ	WG1810HP (JE) 用 AC アダプタを接続します。	
④ USB ポート	USB デバイスを接続するためのポートです。	
⑤ LAN ランプ (※)	緑 (点灯)	LAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	LAN ポートでデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポートのリンクが確立していないとき
⑥ WAN ランプ (※)	緑 (点灯)	WAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	WAN ポートでデータ送受信しているとき
	消灯	WAN ポートのリンクが確立していないとき
⑦ RESET スイッチ	初期化するときに使用します。	

(※) ECO モード起動中は消灯します。

あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか確認してください。

- WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P33）
- プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること
- ファイアウォールなど、すべてのソフトが停止してあること
本商品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したまま）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript の設定が有効にしてあること。（☛P34）
- パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P31）

※ 以下に記載している OS を動作確認しています。

Windows 10

Windows 8.1

Windows 7

Windows Vista

OS X v10.10/v10.9/v10.8/v10.7 および Mac OS X v10.6

ただし、お客様の環境・機器によってはご使用になれない場合があります。

※自作のパソコンはサポート外となります。

〈本商品の LAN ポートに有線で接続する場合〉

- LAN ポート（^{イーサネット}ETHERNET ポート）を装備していること
お使いのパソコンに LAN ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T または 10BASE-Te 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。

お願い

- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめサポートページから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows 10/8.1/7 および Windows Vista の場合

1 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックする

※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。

2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする

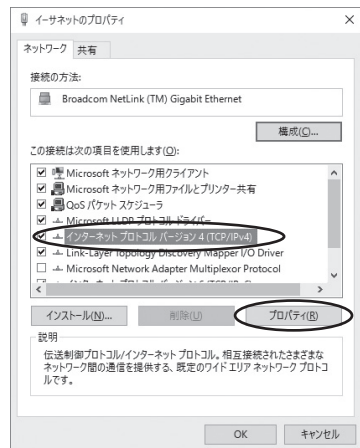
※ Windows Vista の場合は、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。

3 [イーサネット接続] (または [イーサネット] または [ローカルエリア接続]) を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

※本商品に Wi-Fi 接続する場合は、[Wi-Fi 接続] (または [Wi-Fi] または [ワイヤレスネットワーク接続]) を右クリックして [プロパティ] をクリックしてください。

4 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする

5 [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面は Windows 10 の例です。)

6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

7 [OK] をクリックする


**お知らせ**

- Windows 10/8.1/7 および Windows Vista の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows 10/8.1/7 の通常表示モード（カテゴリーの表示）、Windows Vista の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows 10 で Internet Explorer 11.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

※ Windows 10 で Microsoft Edge をご利用の場合は、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

① **Internet Explorer を起動する。**

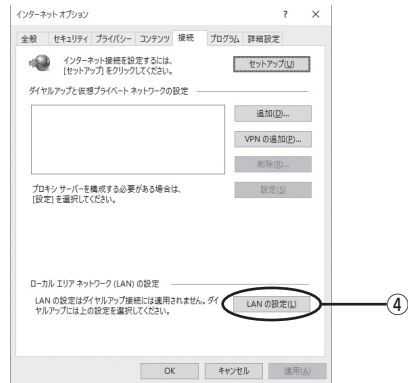
Windows 10 の場合、Windows のロゴボタンをクリックし、[すべてのアプリ] - [Windows アクセサリ] - [Internet Explorer] をクリックします。

② **【ツール】の【インターネットオプション】を選択する。**

③ **【接続】タブをクリックする。**

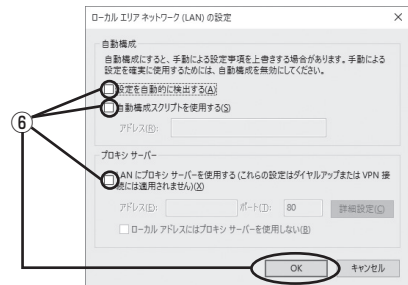
※ダイヤルアップの設定欄が表示されている場合は、[ダイヤルしない] を選択してください。

④ **【LAN の設定】をクリックする。**



⑤ **【設定を自動的に検出する】、【自動構成スクリプトを使用する】、【LAN にプロキシサーバーを使用する】の ☒ を外して【OK】をクリックする。**

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



⑥ **【OK】をクリックする。**



お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。


JavaScript の設定を確認する

WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、JavaScript の設定を有効にしてください。

Windows で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows 10 で Internet Explorer 11.0 を使用している場合を主な例に説明しています。なお、Windows 8.1/7 および Windows Vista で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

※ Windows 10 で Microsoft Edge をご利用の場合は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックする

※ Windows 7 および Windows Vista の場合は、[スタート]（Windows のロゴボタン）－ [コントロールパネル] をクリックします。

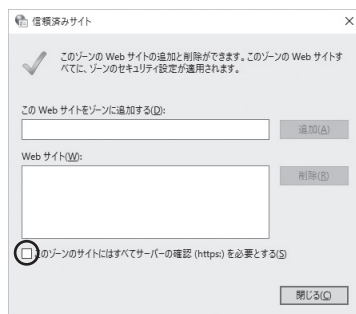
2 [ネットワークとインターネット]－[インターネットオプション]をクリックする

※ Windows Vista の場合は、[クラシック表示]－[インターネットオプション]をクリックします。

3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

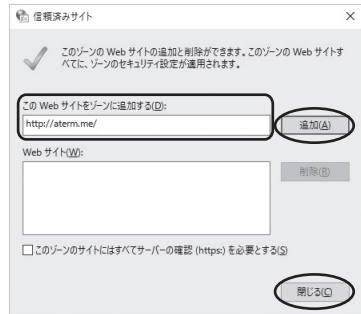
4 [サイト] をクリックする

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



6

【この Web サイトをゾーンに追加する】に「http://aterm.me/」を入力して【追加】をクリックし、【閉じる】をクリックする



※クイック設定 Web による初期化を行うと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス（192.168.10.1）でクイック設定 Web 画面が開く場合がありますので、本商品の IP アドレス「http://192.168.10.1/」も追加することをお勧めします。

※IP アドレスを変更した場合は変更した IP アドレスを入力してください。

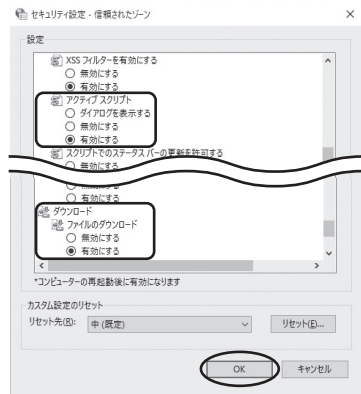
7

【レベルのカスタマイズ】をクリックする

8

画面をスクロールし、【アクティブスクリプト】と【ファイルのダウンロード】を【有効にする】に変更し、【OK】をクリックする

※「このゾーンの設定を変更しますか？」の画面が表示された場合は、【はい】（または【はい】 - 【適用】）をクリックしてください。



9

【OK】をクリックする

Windows で Firefox をご利用の場合

Firefox[®] 29 では、初期状態で JavaScript は有効に設定されています。
変更する場合は、Firefox[®] のサポートページなどで対処方法をご確認ください。

Windows で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Windows 10 を使用している場合の例です。

※ Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

1 Google Chrome を起動する

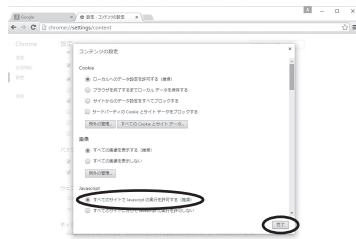
2 ≡ (Google Chrome の設定) をクリックする

3 [設定] をクリックする

4 「プライバシー」にある【コンテンツの設定…】をクリックする

※「プライバシー」が表示されない場合は、下方の「詳細設定を表示…」をクリックしてください。


5 「Javascript」で「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する(推奨)」を選択して【完了】をクリックする



6 Google Chrome を閉じる

Mac OS X または OS X で Safari をご利用の場合

以下は、OS X v10.10 で Safari 8.0 を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
 - 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
 - 3 [セキュリティ] をクリックする
 - 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 
- 5 メニューバーの [Safari] から [Safari を終了] をクリックし、Safari を終了させる

Android で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Android 5.0 をご利用の場合の例です。

※ Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

- 1 Google Chrome を起動する
 - 2 ⋮ (Google Chrome の設定) をタップする
 - 3 [設定] をタップする
 - 4 [コンテンツの設定] をタップする
- ※「コンテンツの設定」が表示されない場合は、「詳細」をタップしてください。

5 「JavaScriptの有効化」にチェックを入れる



6 Google Chrome を閉じる

iOS をご利用の場合

以下は iOS 8.4 の場合の例です。

1 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

2 設定メニューの「Safari」をタップする

3 「詳細」をタップする

4 「JavaScript」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする



1



設置する

1

置き場所を決める

電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

- 本商品はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置く
- 電源コンセントはあるか？
電源コンセントを確保しましょう。

⚠ 注意

- 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因となります。
- ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる場所に設置してください。ネジが外れ落下し、故障、けがの原因となります。
- 壁掛け設置されている状態で、本商品にケーブルを接続したり、スイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。落下すると、故障、けがの原因となります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】



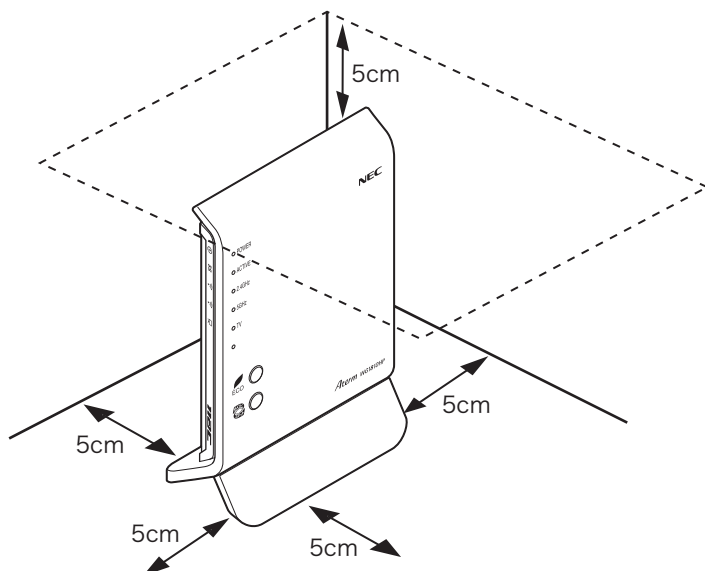
お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により短くなります。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。

設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

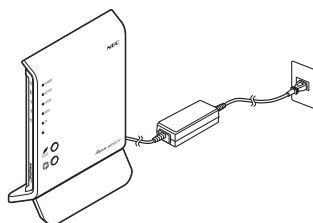
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



警告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。



注意

- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上にものを置いたり、重ね置きはしないでください。

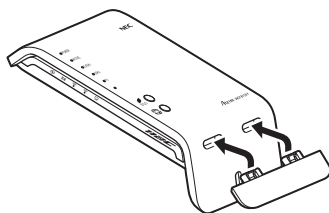
スタンドを付ける

1

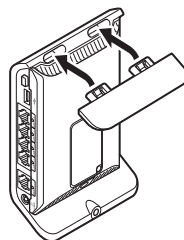
スタンドを本体に差し込む

スタンドの凸部を本体下部（縦置きの場合）または本体上部（横置きの場合）のスタンド用取り付け穴に差し込みます。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



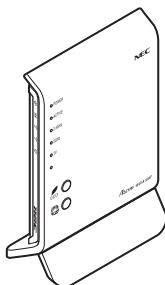
< 縦置き >



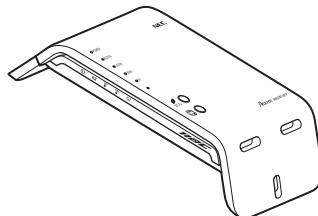
< 横置き >

2

本体を置く



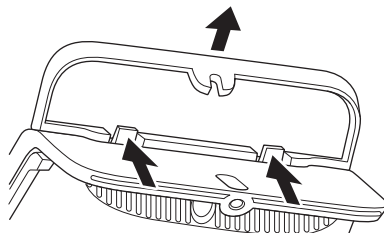
< 縦置き >



< 横置き >

！ スタンドを外す場合は

図のように、スタンド裏面のロック解除ボタン（2箇所）を押しながら、取り外してください。



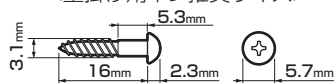
※縦置きの場合の例です。

壁掛けの場合



壁掛け用ネジ（2本）はおお客様でご用意ください。

<壁掛け用ネジ推奨サイズ>

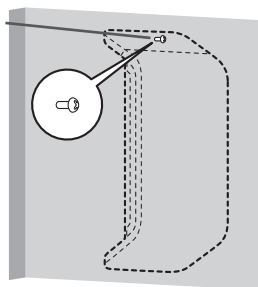


1 スタンドを本体上部に差し込む

「スタンドを付ける」の手順1の<横置き>を参照してください。

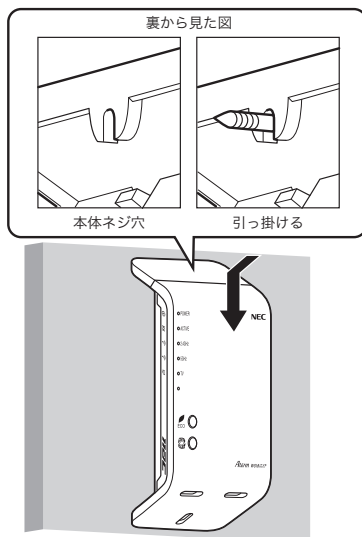
2 本体を取り付ける位置を決め、壁掛け用のネジを取り付ける

手順1で取り付けたスタンドのネジ穴がくる位置へネジ止めしてください。



3 本体をネジに引っ掛ける

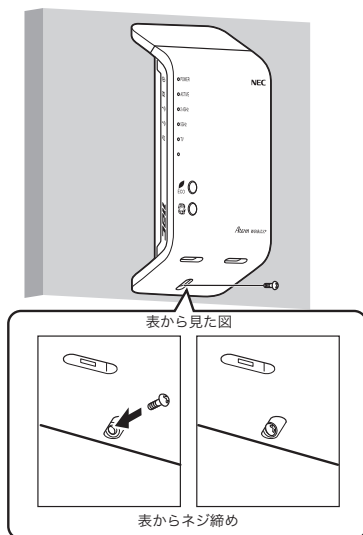
本体に取り付けたスタンドのネジ穴を、ネジに引っ掛けます。



(次ページに続く)

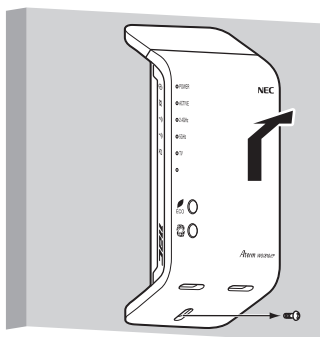
4

本体下部にあるネジ穴から、ネジを取り付ける



！ 壁から取り外す場合は

図のように、本体下部のネジを外したあと、本体を上側へ引き上げて、取り外してください。取り外すときは、本体の両側を持ってください。



お知らせ

- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。



2



設定する

2

クイック設定 Web で本商品の設定を行うには、あらかじめ本商品とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。



お知らせ

- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。



お願い

- クイック設定 Web の設定は、[設定] をクリックしたあと [保存] をクリックしてからでないと保存されません。

設定できる WWW ブラウザ

設定できる WWW ブラウザは次のとおりです。(2016 年 9 月現在)

■ Windows® 10 の場合

Microsoft Edge に対応

Internet Explorer 11.0 に対応

※ Microsoft Edge では一部の機能が動作しない場合があります。

その場合は、Internet Explorer をご使用ください。

■ Windows® 8.1 の場合

Internet Explorer 11.0 に対応

Firefox 29 に対応

Google Chrome 35 に対応

■ Windows® 7 の場合

Internet Explorer 11.0 に対応

Firefox 29 に対応

Google Chrome 35 に対応

■ Windows Vista® (SP2 以降) の場合

Internet Explorer 9.0 に対応

Firefox 29 に対応

Google Chrome 35 に対応

■ OS X v10.10/v10.9/v10.8/v10.7 の場合

Safari 7.0 に対応 (v10.9)

Safari 6.0 に対応 (v10.8/v10.7)

Safari 5.0 に対応 (v10.7)

Firefox 29 に対応

Google Chrome 35 に対応

■ Mac OS X v10.6 の場合

Safari 5.0/4.0 に対応

■ iOS 8.4/8.3/8.2/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.3/4.2 の場合 (※1) (※2)

Safari に対応

■ Android 5.1/5.0/4.4/4.3/4.2/4.1/4.0/3.2/3.0/2.3/2.2 の場合 (※1) (※2)

Google Chrome に対応

〈画面例〉



■ ゲーム系

「プレイステーション 3」、「プレイステーション 4」、PlayStation®Vita、ニンテンドー 3DS（ニンテンドー 3DS LL 含む）、Wii U 本体のインターネットブラウザに対応

- ※ 1 iOS または Android で設定する場合は、本商品に Wi-Fi 接続したあとに行ってください。
- ※ 2 下記内容は設定できません。（2016 年 9 月現在）
 - ・[設定値の保存&復元] 画面の「設定値の保存」、「設定値の復元」
 - ・[ファームウェア更新] 画面の「更新方法：ローカルファイル指定」
 - ・[通信情報ログ] 画面の「ファイルへ保存」
 - ・[USB ストレージ] 画面でのファイルのダウンロード、ファイルのアップロード

クイック設定 Web を利用するための準備

本商品と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できているかどうかで確認することができます。

< IP アドレスの確認方法 >

■ Windows 10/8.1/7 および Windows Vista の場合

- ① [Windows] キーを押しながら [X] キーを押し、表示された一覧から [コマンドプロンプト (管理者)] をクリックする
 - ※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。
- ② [ipconfig] と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」（または「192.168.11.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ Mac OS X または OS X の場合

以下は OS X v10.10 の場合の例です。

- ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- ② [Ethernet] を選択する
 - ※ 本商品に Wi-Fi 接続している場合は [Wi-Fi] を選択して [詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブをクリックします。
- ③ IP アドレス（または IPv4 アドレス）が「192.168.10.XXX」（または「192.168.11.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ iOS の場合

以下は iOS 8.4 の場合の例です。

- ① 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
- ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) をタップする
- ④ [IP アドレス] が「192.168.10.XXX」（または「192.168.11.XXX」）になることを確認する
（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ Android の場合

- ① [設定] をタップする
- ② 「無線とネットワーク」にある [Wi-Fi] をタップする
- ③ ⓘ [詳細設定] をタップする
- ④ [IP アドレス] が「192.168.10.XXX」（または「192.168.11.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

クイック設定 Web の起動のしかた

本商品のクイック設定 Web は次の手順で起動します。

- ① パソコンなどを起動する
- ② WWW ブラウザ を 起 動 し、 ア ド レ ス 欄 に「http://aterm.me/」と入力して、クイック設定 Web のページを開く
※ 本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.10.1 です。) 例 : http://192.168.10.1/

- ③ 右の画面が表示された場合は、下記の手順で管理者パスワードを設定する

※ この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

- [1] 画面にしたがって管理者パスワード (任意の文字列) を決めて、控えておく

管理者パスワード控え欄

- 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

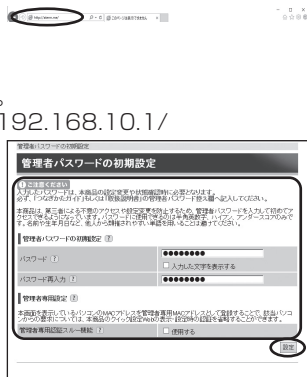
- [2] 控えておいた管理者パスワードを画面に入力し、[設定] をクリックする

※ 「パスワード」を入力する前に「入力した文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が確認できます。

※ 「管理者専用設定」で「管理者専用認証スルー機能」の「使用する」にチェックを入れると、この画面を表示している端末の MAC アドレスを管理者専用の MAC アドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定 Web 起動時にユーザ名・管理者パスワード入力を省略することができます。

- ④ 右の画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする


※ 「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には③で控えた管理者パスワードを入力してください。

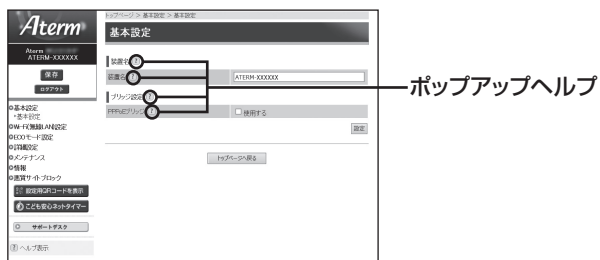


(画面は Windows 10 の場合の例です。)

- ⑤ クイック設定 Web が表示される

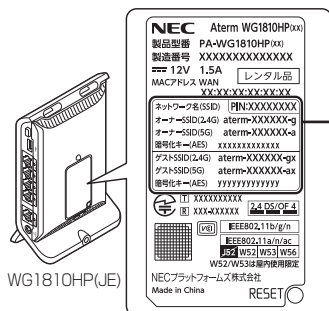
ポップアップヘルプについて

クイック設定 Web を開くと、各項目に  のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。



この章では、本商品に Wi-Fi 接続する場合の設定について説明しています。

Wi-Fi 接続するには、本商品側面に記載されている Wi-Fi 設定内容（ネットワーク名（SSID）、暗号化キー）を、ご利用の子機に設定します。



工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

[Wi-Fi 設定内容（初期値）]

「aterm-xxxxxx」は下記 SSID で共通の値となります。なお、下記の「xxx…」 「yyy…」は装置ごとに違う値ですので、本商品の側面ラベルをご確認ください。

ネットワーク名（SSID）			暗号化キー	暗号化
オーナー SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-g	xxxxxxxxxxxxxx	AES
	5GHz	aterm-xxxxxx-a		
ゲスト SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-gx	yyyyyyyyyyyyyy	AES
	5GHz	aterm-xxxxxx-ax		
WEP 専用 SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-gw	zzzzzzzzzzzzzz ^(※)	WEP (128bit)

(※) 「WEP 専用 SSID」の暗号化キー「zzz…」は、クイック設定 Web にて確認することができます。設定の際は、P2-7 の WEP 専用 SSID の記載をご確認ください。

● ネットワーク名（SSID）

本商品には 3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があります。通常は、「オーナー SSID」に接続してください。

詳しくは、「マルチ SSID について」（●P2-7）を参照してください。

※ IEEE802.11b のみに対応している子機（ニンテンドー DS など）は、らくらく無線スタートで接続してください。（「WEP 専用 SSID」に接続されます。）

● 暗号化キー

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁（0～9、a～f を使用）に設定されています。

※ 暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷時の状態ではすべて小文字（abcdef）です。（「B」（ビー）、「G」（ジー）、「I」（アイ）、「J」（エル）、「O」（オー）は使用していません。）

マルチ SSID について

本商品には 3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があり、それぞれに異なるセキュリティの設定ができます。(📖 ユーザーズマニュアル)
また、これらの SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な子機と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な子機が共存可能です。
通常は、「オーナー SSID」に接続してください。

● オーナー SSID

初期値：「aterm-xxxxxx-g」(2.4GHz モードの場合)

「aterm-xxxxxx-a」(5GHz モードの場合)

→本商品側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」の上段に記載されています。

通常はこちらに接続してください。

・暗号化方式として TKIP/AES が利用可能。(初期値は AES)

・AES が設定されている場合、2.4GHz モードでは IEEE802.11n、5GHz モードでは IEEE802.11ac による高速通信が利用可能。

● ゲスト SSID

初期値：「aterm-xxxxxx-gx」(2.4GHz モードの場合)

「aterm-xxxxxx-ax」(5GHz モードの場合)

→本商品側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」の下段に記載されています。

訪問者 (ゲスト) の仕様を一時的に許可する場合の SSID です。

ただし、使用するには設定が必要となります。

→ 初期値で、Wi-Fi 機能が無効に設定されています。接続する場合は、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 詳細設定」で Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。(Wi-Fi 機能の有効時間を指定することもできます。)

・暗号化方式として TKIP/AES が利用可能。(初期値は AES)

・AES が設定されている場合、2.4GHz モードでは IEEE802.11n、5GHz モードでは IEEE802.11ac による高速通信が利用可能。

● WEP 専用 SSID

初期値：「aterm-xxxxxx-gw」(2.4GHz モードのみ)

→ゲスト SSID の末尾 2 桁を「gw」にしたものになります。

ご使用の子機の暗号化モードが WEP の場合(ニンテンドー DS など)に選択する SSID です。

通常は、IEEE802.11b のみに対応している子機 (ニンテンドー DS など) から、らくらく無線スタートで接続してください。

・暗号化方式として WEP が利用可能。(128bitWEP 固定)

※ WEP 専用 SSID に手動で接続する場合は、事前に Wi-Fi 機能を「使用する」に設定したうえで暗号化キーを確認しておく必要があります。暗号化キーは、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 詳細設定」で、暗号化キーを確認して控えておいてください。

※ 本商品の WEP の暗号化 (セキュリティ) については、下記を参考にしてください。

・WEP は Open System 認証を使用しています。

・キーは自動的に提供されません。また、本商品のキーインデックスは「1」です。

・IEEE802.1X は使用していません。

・暗号化キーを 26 桁 (16 進数) でしか指定できない子機の場合は、英数字を 16 進数に読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：0123456789abc → 30313233343536373839616263



お知らせ

- らくらく無線スタート利用時には、工場出荷時の状態でオーナー SSID に接続されます。
(ただし、ニンテンドー DS などの IEEE802.11b のみに対応している子機は WEP 専用 SSID に接続されます。)

らくらく無線スタート接続先をゲスト SSID にしたい場合は、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 基本設定」での設定が必要となります。

- ゲスト SSID と WEP 専用 SSID は、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能が設定されているため、下記の制限があります。
 - ・クイック設定 Web に接続できない。
 - ・本商品に有線で接続された端末に接続できない。
 - ・本商品に他のネットワーク名 (SSID) で Wi-Fi 接続された端末に接続できない。
 - ・USB カメラ、USB ストレージにアクセスできない

なお、ゲスト SSID の場合は、制限を解除することができます。いったん有線で本商品とパソコンを接続してクイック設定 Web を表示し、「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でゲスト SSID を選択して、「Wi-Fi 機能設定」の「ネットワーク分離機能」で「使用する」のチェックを外してください。(☞ユーザーズマニュアル)

本商品に Wi-Fi 対応のゲーム機を接続することができます。

●らくらく無線スタートでの設定

らくらく無線スタートに対応したゲーム機の場合は、らくらく無線スタートで簡単に Wi-Fi 接続設定ができます。


＜らくらく無線スタートで設定できるゲーム機の例＞

- ・Wii、Wii U
- ・ニンテンドー DS（ニンテンドー DS Lite 含む）
- ・ニンテンドー DSi（ニンテンドー DSi LL 含む）
- ・ニンテンドー 3DS（ニンテンドー 3DS LL 含む）
- ・「プレイステーション 3」
- ・「プレイステーション 4」
- ・PSP®「プレイステーション・ポータブル」
- ・PlayStation®Vita



らくらく無線スタートのマークから設定

※図は一例です。

設定方法はゲーム機の取扱説明書などやゲーム機の接続設定内にある  マークから設定してください。

なお、サポートページにて、らくらく無線スタート対応機種の新情報を確認することができます。

●手動設定

らくらく無線スタートに対応していないゲーム機は、手動で設定します。

本商品側面に記載されている Wi-Fi 設定内容をゲーム機側に設定してください。設定方法については、各ゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

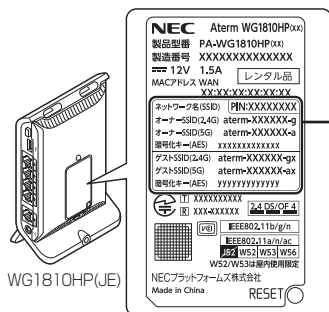
＜Wi-Fi 接続できるゲーム機の例＞

- ・Xbox360 など

ゲーム機の取扱説明書などにしたがって Wi-Fi 機能を有効にしたら、接続したい本商品のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。

※設定の際に画面に出てくる「セキュリティキー」、「パスワード」、「ネットワークキー」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

※ WEP にのみ対応しているゲーム機の場合は、P2-7 を参照して、WEP 専用 SSID に手動で接続してください。



WG1810HP(JE)

工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。



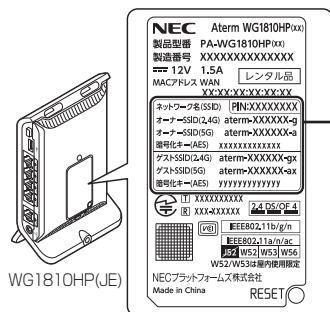
お知らせ

- ゲーム機のブラウザでクイック設定 Web を表示させる場合、「WEP 専用 SSID」に Wi-Fi 接続していると（※）、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、いったん有線で本商品とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度 Wi-Fi 接続してください。

（※）ニンテンドー DS、らくらく無線スタートで設定した PSP®「プレイステーション・ポータブル」の場合など。

iPad/iPhone/iPod touch から 接続する

本商品に Wi-Fi で iPad/iPhone/iPod touch を接続することができます。
本商品側面に記載されている Wi-Fi 設定を iPad/iPhone/iPod touch 側に設定してください。
設定方法については、iPad/iPhone/iPod touch の取扱説明書などを参照してください。



工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

下記は設定方法の概要です。

- 1 本商品側面に記載されているネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをあらかじめ控えておく
暗号化キーを変更している場合は、変更後の暗号化キーになります。
- 2 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- 3 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
- 4 「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする
- 5 ネットワークの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名 (SSID) をタップする
- 6 「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする
本商品の暗号化キーの初期値は小文字です。数字を入力するときは、「[.?123]」ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。
- 7 設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される

例





お知らせ

- 本商品で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を設定している場合は、手順 5 で「その他」を選択してネットワーク名（SSID）を直接入力し、「セキュリティ」をタップします。「その他」をタップしたあと、手順 6 へ進みます。
ネットワークの一覧から選択していったん接続が完了したあとに、本商品で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を有効にすると、iPad/iPhone/iPod touch を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は、「その他」からネットワーク名（SSID）を直接入力して再度設定を行ってください。
- 本商品で「MAC アドレスフィルタリング」を設定している場合は、いったん解除してから接続してください。
接続が完了したあとに、iPad/iPhone/iPod touch の MAC アドレスを登録して有効にしてください。
- 設定手順は、iPad/iPhone/iPod touch の OS バージョンにより変更される場合があります。

スマートフォンやタブレット端末の場合、Aterm らくらく「かざして」スタート、Aterm らくらく QR スタートをご利用いただくと、設定用の NFC タグや QR コードを読み取るだけで、本商品へ簡単に Wi-Fi 接続することができます。

設定用の NFC タグや QR コードは、本商品に添付の「Wi-Fi 設定シート」（シール）に表示されています。なお、クイック設定 Web の QR コード表示機能で表示した QR コードを使用することもできます。

らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する

本商品に添付の「Wi-Fi 設定シート」（シール）にあるらくらく「かざして」スタート用 NFC タグを読み取って Wi-Fi 接続します。本商品の Wi-Fi 設定内容を工場出荷時の状態のままご利用の場合で、NFC 機能に対応している端末をご利用の場合は、こちらをご利用ください。

※「Wi-Fi 設定シート」には、本商品の初期値の Wi-Fi 設定内容（ネットワーク名（SSID）、暗号化モード、暗号化キー）が含まれています。

Wi-Fi 接続手順は、「つなぎかたガイド」を参照してください。



お知らせ

- Aterm らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する際、WPS（NFC）方式に準拠したアプリがすでにインストールされているスマートフォン／タブレット端末をご利用の場合は、設定用の NFC タグにかざすだけで Wi-Fi 設定が完了する場合があります。
- Aterm らくらく「かざして」スタートは、インターネット接続（LTE 通信や 3G 通信など）機能および NFC 機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Aterm らくらく「かざして」スタートの Web サイト（<http://nfc.setup.aterm.jp>）でご確認ください。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続（LTE 通信や 3G 通信など）のポケット通信料はお客様ご負担となります。

らくらく QR スタートで Wi-Fi 接続する

らくらく QR スタート用 QR コードを使用して Wi-Fi 接続する

本商品に添付の「Wi-Fi 設定シート」（シール）の QR コードを読み取って Wi-Fi 接続します。本商品の Wi-Fi 設定内容を工場出荷時の状態のままご利用の場合は、こちらをご利用ください。

※「Wi-Fi 設定シート」には、本商品の初期値の Wi-Fi 設定内容（ネットワーク名（SSID）、暗号化モード、暗号化キー）が含まれています。

Wi-Fi 接続手順は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

QR コード表示機能を使用して Wi-Fi 接続する

クイック設定 Web から表示した設定用 QR コードを読み取って Wi-Fi 接続します。クイック設定 Web で Wi-Fi 設定内容を変更した場合も、変更した内容の QR コードを表示できます。

次の手順（●P2-14）で、設定用 QR コードを表示し、スマートフォン／タブレット端末から Wi-Fi 接続してください。

■設定用 QR コードを表示する

1 QR コードを表示したいパソコンで、クイック設定 Web を起動する (P2-4)

※パソコンは、本商品に接続してインターネット通信ができている状態でご使用ください。

2 画面左のメニューにある「設定用 QR コードを表示」をクリックする

設定用 QR コードを作成する Web サイトにリンクします。



3 画面にしたがって、設定用 QR コードを作成・表示する

■スマートフォン／タブレット端末から Wi-Fi 接続する

4

スマートフォン／タブレット端末で、専用アプリ「Aterm らくらく QR スタート」を起動する

※専用アプリ「Aterm らくらく QR スタート」は、
右記 URL からダウンロードしてください。 <http://qr.aterm.jp>

※起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。

5

カメラビューで、手順 3 で表示された設定用 QR コードを読み取る

※カメラビュー内の読み取り範囲内に QR コードを表示させてください。自動的に QR コードを読み取ります。

6

Wi-Fi 設定内容が表示されたら、[設定適用] をタップする

※本商品とご利用の端末両方が 2.4GHz/5GHz に対応している場合は、優先的に 5GHz に接続します。5GHz を利用できない場合は、2.4GHz に接続します。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

(iOS 端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。)

なお、詳細は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト (<http://qr.aterm.jp>) を参照してください。



お知らせ

●Aterm らくらく QR スタートは、インターネット接続 (3G 通信や LTE 通信など) 機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Aterm らくらく QR スタートの Web サイト (上記) でご確認ください。

なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続 (3G 通信や LTE 通信など) のパケット通信料はお客様ご負担となります。

パソコンなどから Wi-Fi を簡単に設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を使用して Wi-Fi 設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX とは、本商品にあるらくらくスタートボタンの操作で、Wi-Fi の接続設定（SSID・暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。（●「つなぎかたガイド」）

本商品に Wi-Fi セキュリティ機能の MAC アドレスフィルタリング、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合においても設定が可能です。



本商品は、らくらく無線スタートに対応した Aterm シリーズの子機（※ 1）や、無線 LAN 内蔵パソコン（※ 2）からのらくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX による接続設定に対応しています。

設定方法は、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。

（※ 1）WL900U、WL450NU-AG、WL300NU-GS、WL300NU-AG、WL300NE-AG、WG1800HP2（※）/WF1200HP（※）/WG1800HP（※）/WG1400HP（※）/WR9500N（※）/WG2600HP（※）/WG2200HP（※）/WG1200HP（※）/WF1200HP2（※）で対応。（2016 年 9 月現在）

（※）子機（CONVERTER）モードまたは無線 LAN 子機（CONVERTER）モードでご使用ください。

（※ 2）らくらく無線スタート EX は、Windows 10/8.1/7 または Windows Vista、OS X v10.10/v10.9/v10.8/v10.7、Mac OS X v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載のパソコンに対応。
かつ各 OS のワイヤレスネットワーク接続で Wi-Fi 設定ができる環境に限られます。



お知らせ

- らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX は、サポートページからダウンロードすることができます。
- 工場出荷時の状態でらくらく無線スタートを行った場合は、2.4GHz で接続します。ただし、WL300NE-AG の場合は、5GHz で接続します。

WPS 機能を使用して Wi-Fi 設定する

本商品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した Wi-Fi の自動設定を行うことができます。

設定するには、子機も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した Wi-Fi の接続設定を簡単に行うための規格です。

※ 本機能では、わかりやすくするために「らくらくスタートボタン」を「らくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン)」と呼びます。

設定には、以下の方法があります。

● らくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) による設定 (➡P2-18)

● PIN 方式による設定 (㊦ユーザーズマニュアル)

WPS の PIN 方式で AP Enrollee/AP Registrar をお使いの場合に、こちらの設定をご利用ください。

通常は、上記のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) による設定をご利用ください。

＜本商品の Wi-Fi 設定内容を子機に設定する場合＞

クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「WPS 設定」にて、子機の PIN コードを入力します。

※ 子機の PIN コードは、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。

※ 本商品の操作方法は、「㊦ユーザーズマニュアル」を参照してください。

＜子機の Wi-Fi 設定内容を本商品に設定する場合＞

クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「WPS 設定」にて「Configured」のチェックを外してから、子機の WPS 機能を起動し、本商品の PIN コードを入力します。

ただし、この方法だと、本商品の Wi-Fi 設定内容が変更になるため、他の子機の Wi-Fi 接続はすべて外れてしまいます。接続が外れた子機は、他の方法を使って Wi-Fi 接続し直してください。

※ 本商品の PIN コード (初期値) は、本商品側面のラベルに記載されています。

※ 子機の操作方法は、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。

※ 本商品の操作方法は、「㊦ユーザーズマニュアル」を参照してください。



お知らせ

● 本商品で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本商品の設定を確認してください。

● WPS 機能での設定中は他の Wi-Fi 接続はいったん切断されることがあります。

● 本商品では、WPS 機能での設定の際、2.4GHz または 5GHz のどちらにも接続することができます。

らくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) による設定

本商品側面にあるらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記のとおりです。

※設定の際は、本商品と子機は近くに置いた状態で設定してください。(目安: 1m 程度)



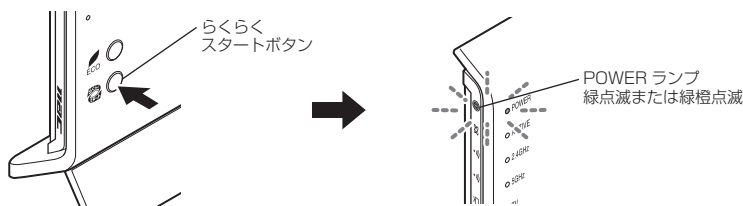
お知らせ

- 本商品で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、子機の MAC アドレスが登録されていないと、子機によっては WPS 機能で設定できません。本商品の設定内容を確認してください。
- 本商品で「WPS 設定」の「PIN 方式」を「使用しない」に設定している場合、Windows 10/8.1/7、Windows Vista でこの設定を行う際は、必ず、先に本商品のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を押してから、Windows 上に表示されるネットワーク名 (SSID) を選択してください。

1 子機の WPS 機能を起動する

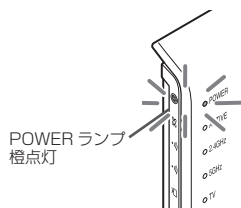
※起動方法は、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。

2 本商品側面のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を長押しし、POWER ランプが緑点滅または緑橙点滅したら放す



3 本商品の POWER ランプが橙点灯することを確認する

※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、子機の取扱説明書などを参照して、本商品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを設定してください。
※ 本商品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、本商品の側面のラベルを参照してください。

Windows 10/8.1/7 および Windows Vista を「ワイヤレスネットワーク接続」で手動で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows 10/8.1/7 および Windows Vista の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で Wi-Fi 設定を行うことができます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書などにしたがって無線（ワイヤレス）機能を有効にし、次の手順で設定してください。

① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本商品のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、キー・パスワードに本商品の暗号化キー（大文字、小文字そのまま）を入力してください。設定手順は下記を参照してください。

- Windows 10 の場合（➡P2-20）
- Windows 8.1 の場合（➡P2-24）
- Windows 7 の場合（➡P2-28）
- Windows Vista の場合（➡P2-34）

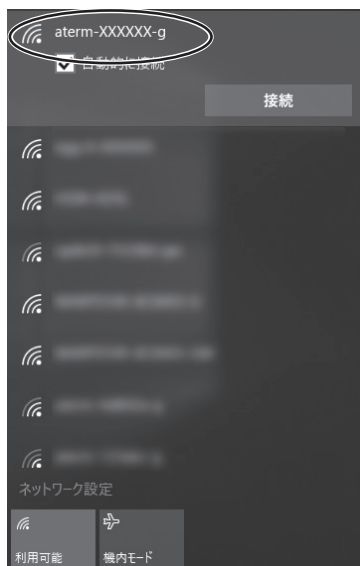
② 本商品との通信状態を確認する（➡P2-39）

Windows 10 の場合

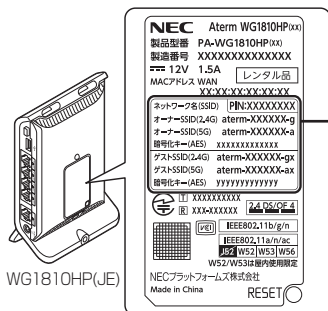
無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

- 1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- 2 接続する本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本商品の側面に記載されています。



工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「接続先を手動で設定する場合」（P2-22）へ進みます。

3

【接続】をクリックする

※ 接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

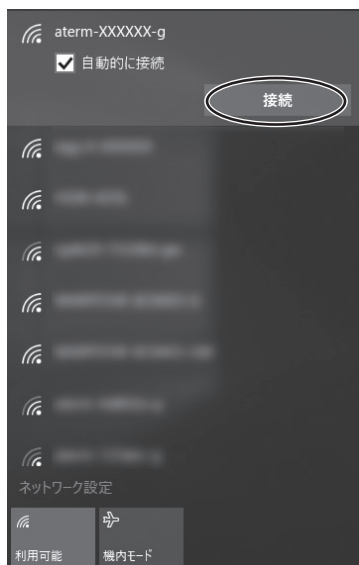
- ① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- ② 「ネットワーク設定」をクリックする
- ③ 「Wi-Fi 設定を管理する」をクリックする
- ④ 「既知のネットワークの管理」で、接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、[削除] をクリックする

上記の手順が完了したら、手順1（➡P2-20）から接続し直してください。

4

右の画面が表示された場合は、本商品の暗号化キーを入力して、[次へ] をクリックする

※ 工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面（裏）に記載されています。（➡P2-20）



2

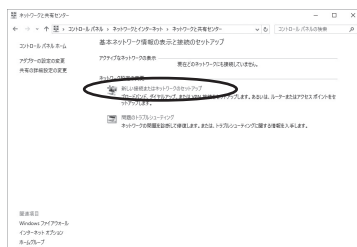
Wi-Fiを設定する



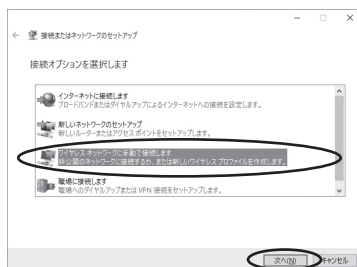
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（➡P2-39）で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする



2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3 表示される画面に合わせて設定を行う

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、本商品の側面（裏）に記載されています。（●P2-20）

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA2- パーソナル] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [AES] と表示される
- ④ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

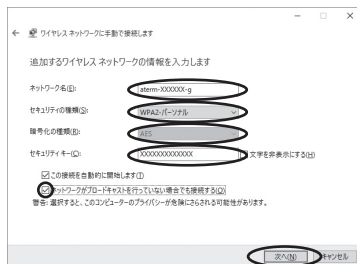
【8～63 桁の場合】英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_]
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(,	:	>]	{	}

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

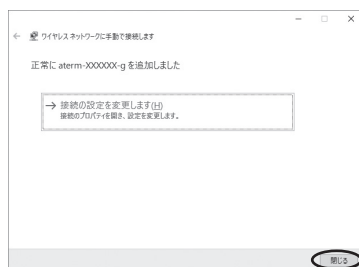
【64 桁の場合】16 進数（0～9、a～f、A～F）

- ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする



4

【閉じる】をクリックする



以上で本商品との Wi-Fi 設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P2-39)で確認してください。

2

Wi-Fiを設定する

Windows 8.1 の場合

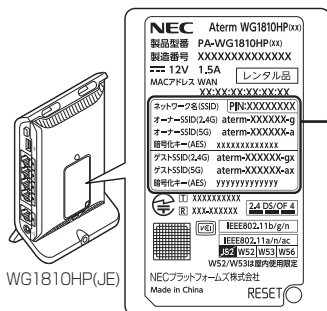
無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

- 1 [スタート] 画面で [デスクトップ] を選択する
- 2 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- 3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本商品の側面に記載されています。



工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「接続先を手動で設定する場合」（➡P2-26）へ進みます。

4

「接続」をクリックする



上の画面が表示された場合は、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除する必要があります。[ネットワークの削除] をクリックしてください。その後、手順 3 から接続し直してください。



5

右の画面が表示された場合は、本商品の暗号化キーを入力して、[次へ]をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面に記載されています。(●P2-24)



上の画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。



2

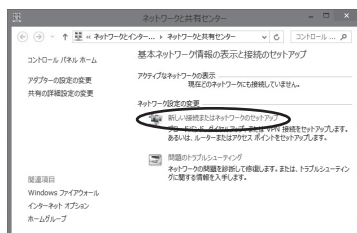
Wi-Fi を設定する



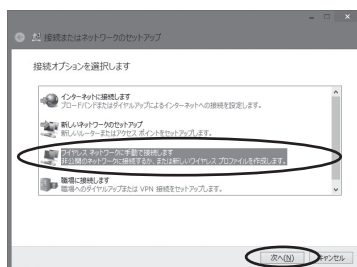
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P2-39)で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする



2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3 表示される画面に合わせて設定を行う

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、本商品の側面に記載されています。（●P2-24）

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA2- パersonal] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [AES] と表示される
- ④ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

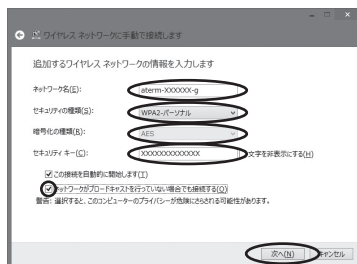
【8～63 桁の場合】英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	-
\$	(,	:	>]	{	

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0～9、a～f、A～F）

- ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする



4

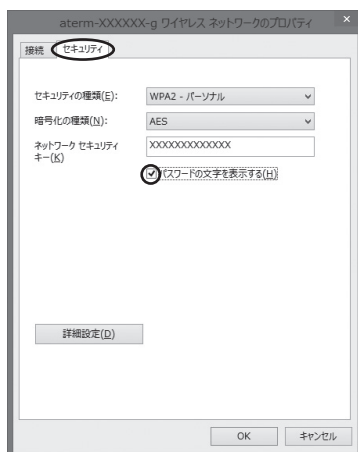
【接続の設定を変更します】をクリックする



5

【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

※【パスワードの文字を表示する】にチェックを入ると、パスワードが確認できます。



6

【OK】をクリックする

7

【閉じる】をクリックする

以上で本商品との Wi-Fi 設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P2-39)で確認してください。

2

Wi-Fiを設定する

Windows 7 の場合

無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

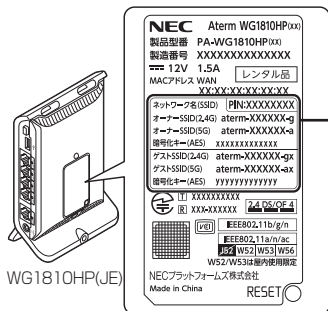
※ [スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名 (SSID) にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- ・セキュリティが設定されている場合
 (「WPA-PSK」など)
 → <本商品に暗号化が設定されている場合> (●P2-29) へ
- ・「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
 → <本商品に暗号化が設定されていない場合> (●P2-30) へ



※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品の側面に記載されています。



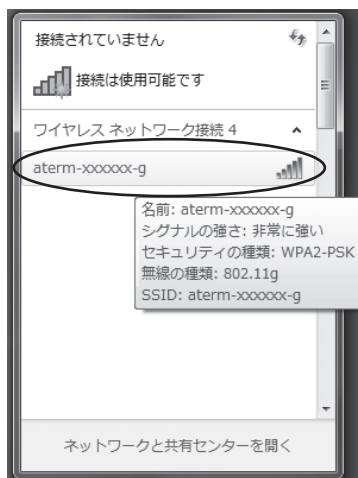
工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「接続先を手動で設定する場合」(●P2-31) の手順 2 へ進みます。

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 [接続] をクリックする

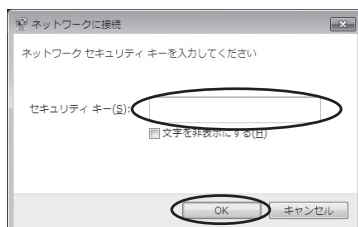
※接続に失敗した場合は、[閉じる] または [キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] – [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（●P2-28）から接続し直してください。

5 本商品の暗号化キーを入力して、[OK] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面に記載されています。（●P2-28）



2

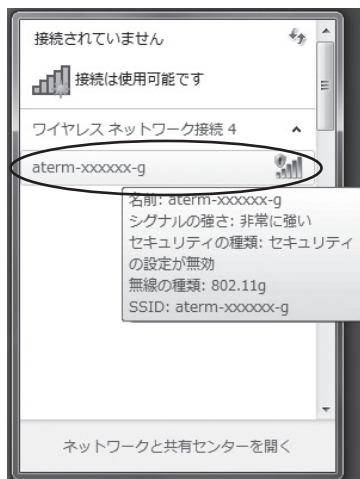
WiFiを設定する



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（●P2-39）で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 [接続] をクリックする



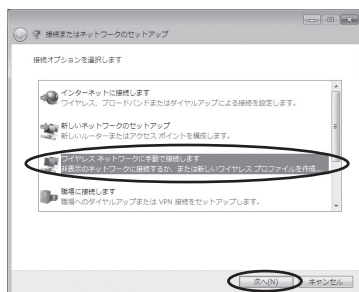
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P2-39)で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

- 1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※ [スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

- 2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



- 3 表示される画面に合わせて設定を行う

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、本商品の側面に記載されています。(●P2-28)

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
- ④ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する

※ 暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※ 暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号)

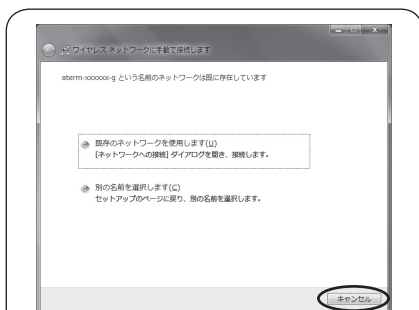
!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(,	:	>]		

※ 「\」 (バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数 (0 ～ 9、a ～ f、A ～ F)

- ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする

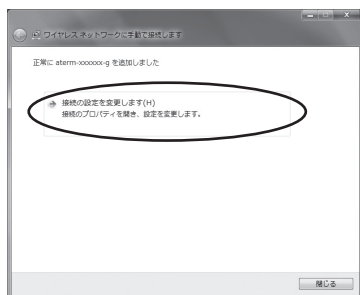
【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) をクリックして右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P2-31 の手順 1 から接続し直してください。



【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

※ [パスワードの文字を表示する] にチェックを入れたら、パスワードが確認できます。



【OK】をクリックする

7 「閉じる」をクリックする

以上で本商品との Wi-Fi 設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P2-39)で確認してください。

Windows Vista の場合

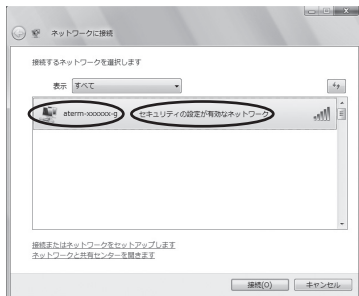
無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

1 [スタート] (Windows のロゴボタン) - [ネットワーク] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



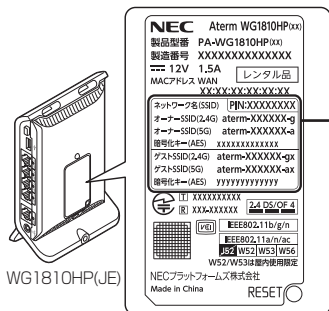
・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合

→ <本商品に暗号化が設定されている場合> (●P2-35) へ

・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合

→ <本商品に暗号化が設定されていない場合> (●P2-36) へ

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品の側面に記載されています。



工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして「接続先を手動で設定する場合」 (●P2-37) の手順 2 へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

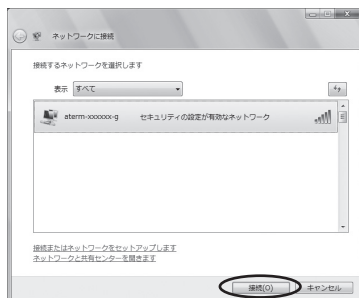
3

【接続】をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる]をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1 (●P2-34) から接続し直してください。

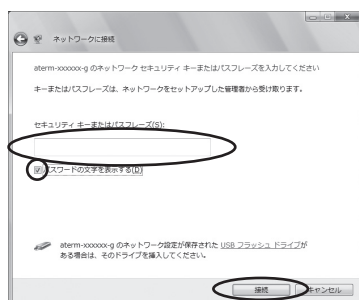


4

本商品の暗号化キーを入力して、【接続】をクリックする

※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

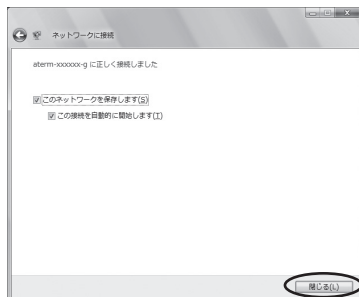
※工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面に記載されています。(●P2-34)



「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」と表示された場合は、画面内の「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックしてください。

5

【閉じる】をクリックする



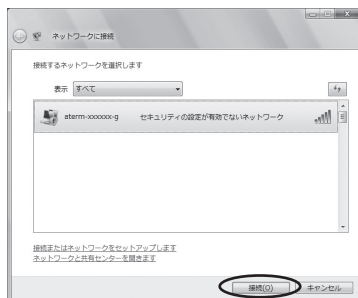
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P2-39)で確認してください。

2

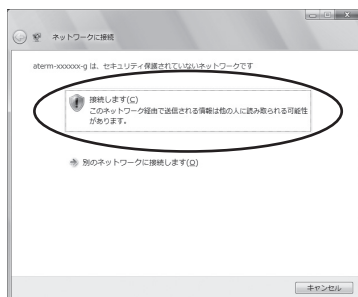
WiFiを設定する

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

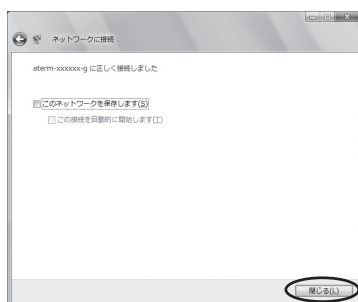
3 [接続] をクリックする



4 [接続します] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする



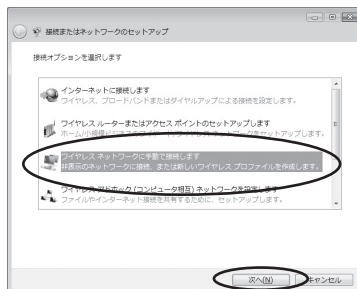
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P2-39)で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

1 [スタート] (Windows のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3 表示される画面に合わせて設定を行う

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、本商品の側面に記載されています。(●P2-34)

① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する

② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する

③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する

④ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本商品の暗号化キーを入力する

※ [パスフレーズ文字を表示する] にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8～63 桁の場合】英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

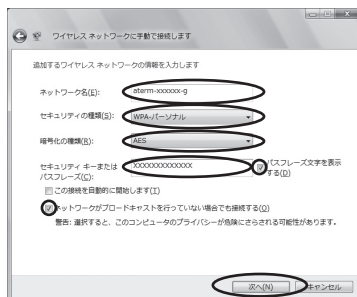
!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(,	:	>]	{	

※「\」 (バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数 (0～9、a～f、A～F)

⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる

⑥ [次へ] をクリックする



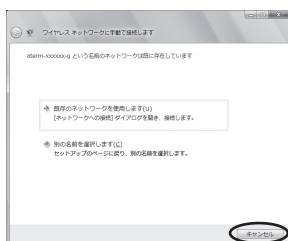
2

Wi-Fi を設定する

(次ページに続く)

4

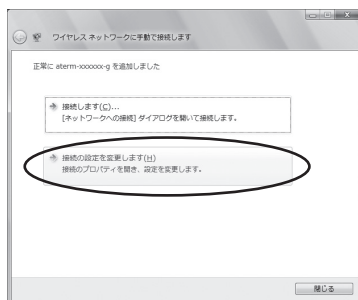
【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

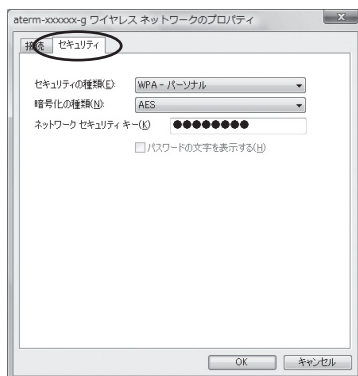
- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P2-37の手順1から接続し直してください。



5

【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する



6

【OK】をクリックする

7

【接続します】をクリックする

以上で本商品との Wi-Fi 設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P2-39)で確認してください。

本商品との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] をクリックする

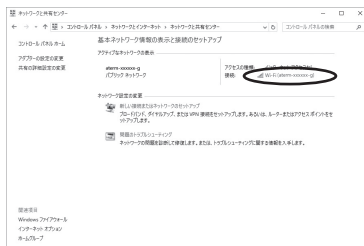
※ Windows 7 の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] をクリックします。

※ Windows Vista の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [ネットワーク] - [ネットワークと共有センター] をクリックします。

2 [Wi-Fi] をクリックする

※ Windows 7 の場合は、[ワイヤレスネットワーク接続] をクリックします。

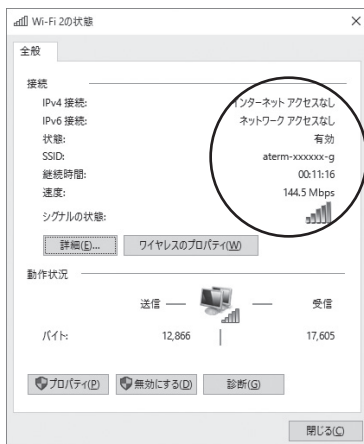
※ Windows Vista の場合は、[状態の表示] をクリックします。



※画面は Windows 10 の場合の例です。

3 Wi-Fi 設定が正しく行われていることを確認する

- ・ [状態] が「有効」になっていること
- ・ [速度] が表示されていること
(表示される速度は、接続する Wi-Fi 動作モードによって異なります。)



※画面は Windows 10 の場合の例です。

4 [閉じる] をクリックする

2

Wi-Fi を設定する




3

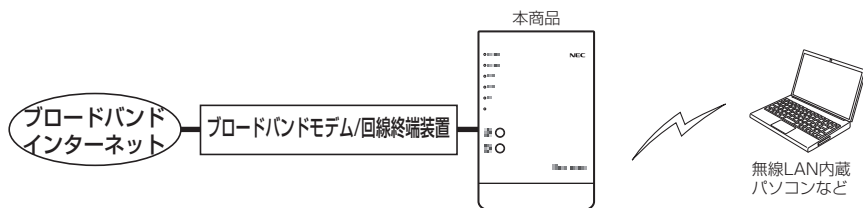


セキュリティ対策をする

3

本商品には、WAN 側（ブロードバンド側）からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能、LAN 側の送信元を詐称したアクセスを防ぐセキュリティ機能、Wi-Fi ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないためのセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。



● WAN 側（ブロードバンド側）

- ・ IP パケットフィルタリング
- ・ アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ 悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能 (●P3-8)

● LAN 側

- ・ 送信元検証機能

● Wi-Fi ネットワーク側

- ・ 暗号化 (●P3-4)
- ・ ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (●P3-5)
- ・ MAC アドレスフィルタリング機能 (●P3-6)
- ・ ネットワーク分離機能 (●P3-7)

② セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすること考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- Wi-Fi 機器では、Wi-Fi のセキュリティを行うことをお勧めします。Wi-Fi のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの Wi-Fi ネットワークに入り込まれる危険性があります。
Wi-Fi ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされることがあります。(➡P15)
なお、本商品は工場出荷時の状態で Wi-Fi のセキュリティが設定済みです。必要に応じてより強固なセキュリティに変更することができます。

暗号化

本商品で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した子機のみ Wi-Fi 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

<暗号化方式について>

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)**
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。
- **TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)**
Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2) に採用の暗号化方式。
一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行うため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。
- **AES (Advanced Encryption Standard)**
米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。
TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本商品と子機で同じ設定にしてください。
- 複数の子機を使用する場合、すべての子機に本商品と同じ暗号化キーを設定してください。
- 本商品を初期化した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。



お知らせ

- 本商品では、工場出荷時の状態で、オーナー SSID/ ゲスト SSID のネットワークに AES の暗号化が設定されています。
Wi-Fi 設定内容（初期値）は、本体側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」を参照してください。ラベルには、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効にする必要があります。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）

Wi-Fi 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID と呼びます。）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと Wi-Fi 通信ができません。

一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。（㊟ユーザーズマニュアル）

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の子機では、接続できない場合があります。

3

セキュリティ対策をする



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）の設定は、ネットワーク名（SSID）ごとに設定できます。クイック設定 Web の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で設定してください。（㊟ユーザーズマニュアル）

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない子機から LAN やインターネットへ接続されることを防止できます。(☞ユーザーズマニュアル)

※ MAC アドレスフィルタリングで登録できる MAC アドレスは 5GHz モードと 2.4GHz モードで共通です。また、MAC アドレスフィルタリング機能を使用するかどうかはネットワーク名 (SSID) ごとに設定できます。

❗ 子機が WG2200HP/WF1200HP2/WG2600HP/WG1800HP2/WG1200HP/ WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG の場合

● 子機が WG2600HP/WG1200HP の場合

親機で MAC アドレスによる接続制限 (MAC アドレスフィルタリング) を行う場合、子機 WG2600HP/WG1200HP (※¹) の MAC アドレス (※²) を登録することで Wi-Fi 接続する他の子機を制限できます。

(※¹) Wi-Fi 子機 (CONVERTER) モードに設定した WG2600HP/WG1200HP。

(※²) 子機の Wi-Fi の MAC アドレスは、子機のクイック設定 Web の「現在の状態」にある「MAC アドレス (Wi-Fi)」を確認してください。

● 子機が WG2200HP/WF1200HP2/WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/ WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG の場合

親機で MAC アドレスによる接続制限 (MAC アドレスフィルタリング) を行う場合、子機 WG2200HP/WF1200HP2/WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N (※³) または WL300NE-AG) の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

(※³) Wi-Fi 子機 (CONVERTER) モードに設定した WG2200HP/WF1200HP2/WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N。

<子機の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合>

子機の Wi-Fi (無線) の MAC アドレス (※⁴) を登録することで Wi-Fi 接続する他の子機を制限できます。

<子機の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合>

子機の Wi-Fi (無線) の MAC アドレス (※⁴) と、子機に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→ 子機では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、子機に接続しているすべての端末が Wi-Fi 接続できなくなります。(子機の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、Wi-Fi 接続できなくなります。)

なお、すでに親機に接続している子機に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。

(※⁴) 子機の Wi-Fi (無線) の MAC アドレスは、下記を確認してください。

<子機が WG2200HP/WF1200HP2/WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/
WG1400HP の場合>

子機のクイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」にある「MAC アドレス (Wi-Fi)」。

<子機 WR9500N の場合>

ご利用の無線周波数 (5GHz/2.4GHz) によらず、子機 WR9500N の側面 (裏) に記載されている「無線 (2.4G)」の MAC アドレス。

<WL300NE-AG の場合>

WL300NE-AG の底面に記載されている無線の MAC アドレス。

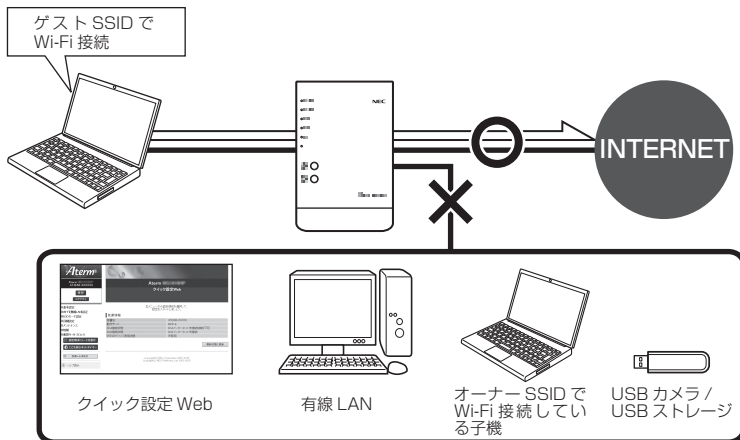
ネットワーク分離機能

マルチ SSID のそれぞれのネットワーク（オーナー SSID / ゲスト SSID / WEP 専用 SSID）に接続した子機や、有線で接続されたパソコン、USB カメラ、USB ストレージへのアクセスを制限し、本商品に接続した他のネットワークから分離することができます。なお、WAN 側が分離されることはありません。（🔗ユーザーズマニュアル）設定は、クイック設定 Web で行います。

（初期値：オーナー SSID は「使用しない」、ゲスト SSID / WEP 専用 SSID（※）は「使用する」）

（※）WEP 専用 SSID は、「使用する」から設定変更できません。

＜ゲスト SSID を「使用する」に設定した場合の例＞



「使用する」に設定したネットワークに接続した子機では、以下の制限があります。

- ・クイック設定 Web に接続できない。
- ・本商品に有線で接続された端末に接続できない。
- ・本商品に他のネットワーク名（SSID）で Wi-Fi 接続された端末に接続できない。
- ・USB カメラ、USB ストレージにアクセスできない

※ インターネットや同一のネットワークに Wi-Fi 接続された端末との通信は可能です。



お知らせ

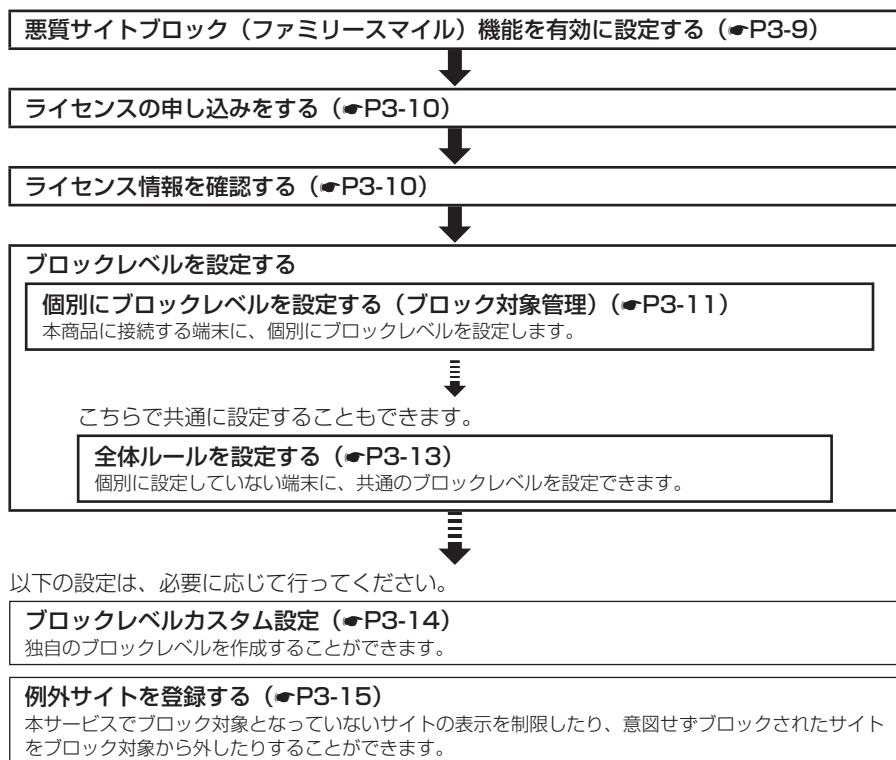
- オーナー SSID、ゲスト SSID の場合は、制限を解除することができます。いったん有線で本商品とパソコンを接続してクイック設定 Web を表示し、「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択して、「Wi-Fi 機能設定」の「ネットワーク分離機能」で「使用する」のチェックを外してください。
- さらにセキュリティを高めたい場合は、同一のネットワークに Wi-Fi 接続された端末との通信を制限することができます。クイック設定 Web の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択し、「Wi-Fi 機能設定」の「SSID 内分離（セパレータ）」で「使用する」にチェックしてください。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を設定する

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能は、アルプス システム インテグレーション株式会社の提供する「悪質サイトブロック ファミリースマイル」に対応する機能です。アルプス システム インテグレーション株式会社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末にブロックレベルを設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

- ※「悪質サイトブロック ファミリースマイル」は、アルプス システム インテグレーション株式会社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- ※「悪質サイトブロック ファミリースマイル」は、以下のような場合は無効になりますのでご注意ください。
 - ・本商品で、PPPoE ブリッジ機能が設定されている端末
 上記以外にも無効になる場合があります。P3-12の「お知らせ」に記載の一覧表をご覧ください。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になるには、本商品の設定とアルプス システム インテグレーション株式会社へのライセンスのお申し込みが必要です。なお、本商品のお客様向けに 60 日間のお試し期間が設けられております。ご利用までの流れは以下のとおりです。



悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能の設定

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になる場合は、次のように設定とライセンスの申し込みを行ってください。



お知らせ

- 本機能を設定すると、サイトにアクセスしてからページを表示するまでに時間がかかる場合があります。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を有効に設定する

ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

- 1 クイック設定 Web を起動する（●P2-4）
- 2 「悪質サイトブロック」－「ファミリースマイル設定」を選択する
- 3 「ファミリースマイル機能」の「使用する」にチェックを入れる
- 4 「設定」をクリックする
- 5 「保存」をクリックする



「ライセンスの申し込みをする」（●P3-10）へお進みください。

ライセンスの申し込みをする

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 クイック設定 Web を起動する (P2-4)

2 「悪質サイトブロック」－「ライセンス管理」を選択し、[お手続き画面へ]をクリックする

アルプス システム インテグレーション株式会社のライセンス申し込みページ画面が表示されます。

画面にしたがって、設定を行ってください。



➡ 「ライセンス情報を確認する」(P2-4) へお進みください。

ライセンス情報を確認する

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

1 クイック設定 Web を起動する (P2-4)

2 「悪質サイトブロック」－「ライセンス管理」を選択し、[ライセンス情報確認]をクリックしてライセンス情報を確認する

※ ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック（ファミリースマイル）の機能が有効になります。

※ 48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロック（ファミリースマイル）の機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

➡ 「個別にブロックレベルを設定する(ブロック対象管理)」(P3-11)へお進みください。

※ 「全体ルールを設定する」(P3-13)で、本商品に接続された端末すべてに共通の設定をすることもできます。

個別にブロックレベルを設定する（ブロック対象管理）

本商品に接続する端末それぞれに、個別にブロックレベルを設定します。

※ ここで個別に設定していない端末には、「全体ルールを設定する」(●P3-13)で共通のブロックレベルを設定することもできます。

1 クイック設定 Web を起動する (●P2-4)

2 「悪質サイトブロック」－「ブロック対象管理」を選択し、「追加」をクリックする

※ブロック対象エントリ項目の削除方法

「ブロック対象管理 エントリー一覧」画面で表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。

3 ブロック対象となる端末のブロックレベルを設定する



- プロファイル名 : 任意の文字を入力します。
 ※ 入力可能な文字については、設定画面上のポップアップヘルプをご覧ください。(項目名の「?」をクリックして確認できます。)
- ブロック対象指定方法 : ブロック対象となる端末の指定方法を MAC アドレス、IP アドレスから選択します。(初期値 : MAC アドレス)
- MAC アドレス : 「ブロック対象指定方法」が「MAC アドレス」の場合、ブロック対象となる端末の MAC アドレスを入力します。
 [XX:XX:XX:XX:XX:XX] 形式で入力してください
- IP アドレス : 「ブロック対象指定方法」が「IP アドレス」の場合、ブロック対象となる端末の IP アドレスを入力します。
- ブロックレベル : 小学生(中学年)相当/小学生(高学年)相当/中学生相当/高校生相当/インターネットあんしんコース/インターネットエキスパートコース/カスタム 1～4/制限なしから選択します。(初期値 : 小学生(中学年)相当)
 ※ 「カスタム 1」～「カスタム 4」は、「ブロックレベルカスタム設定」(●P3-14)にて設定した独自のブロックレベルです。

4 「設定」をクリックする

5 ブロック対象となる端末が複数ある場合は、手順 2～4 を繰り返して設定する

6

【前のページに戻る】をクリックする

【ブロック対象管理 エントリー一覧】画面に、設定した内容が表示されていることを確認します。

7

【保存】をクリックする



お知らせ

- 端末の IP アドレスが、DHCP によって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、クイック設定 Web の「詳細設定」－【DHCP 固定割当て設定】で、インターネット接続端末に固有の IP アドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。
- 個別の端末にブロックレベルを設定する場合、本商品との接続状態やブロック対象指定方法によっては、設定できない場合があります。（※ 1）
下記はその一覧です。（2016 年 9 月現在）
最新情報は、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

本商品との接続状態		ブロック対象指定方法	ご利用可否
 有線接続		MAC アドレス	○
		IP アドレス	
 Wi-Fi 接続		MAC アドレス	○
		IP アドレス	
(参考) PPPoE ルータ 本商品	PPPoE ルータ経由の場合	MAC アドレス	×
		IP アドレス	
	ローカルルータ経由の場合	MAC アドレス	×（※ 2）
		IP アドレス	

（※ 1）全体ルール設定（➡P3-13）は利用可能。

（※ 2）経由する装置（イーサネットコンバータまたはローカルルータ）のアドレスを設定すれば、接続するすべての端末で利用可能。

全体ルールを設定する

「ブロック対象管理」(●P3-11)で個別に設定していない端末に、共通のブロックレベルを設定することができます。

- 1 クイック設定 Web を起動する (●P2-4)
- 2 「悪質サイトブロック」－「ファミリースマイル設定」を選択する
- 3 「全体ルール設定」で「ブロックレベル」を選択する



- 4 「設定」をクリックする
- 5 「保存」をクリックする

ブロックレベルカスタム設定

独自のブロックレベルを作成することができます。(最大 4 種類)

1 クイック設定 Web を起動する (➡P2-4)

2 「悪質サイトブロック」－「ブロックレベルカスタム設定」を選択する

3 ブロックレベル (カスタム 1 ～ 4) ごとに、ブロックしたいカテゴリを選択する

※既存のブロックレベルの設定内容をコピーすることができます。その場合は、設定画面上方のリストボックスで、既存のブロックレベルとコピー先を選択し、[コピー] をクリックしてください。

※ブロックレベル名は変更することができます。その場合は、見出し行に入力します。(最大半角 16 文字、全角 8 文字まで)
ただし、他のブロックレベル名と同じ名前は登録できません。

4 「設定」をクリックする

5 「保存」をクリックする

例外サイトを登録する

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトの URL を例外サイトとして登録することが可能です。

1 クイック設定 Web を起動する（➡P2-4）

2 「悪質サイトブロック」－「例外サイト設定」を選択し、[追加] をクリックする

※ 設定した例外サイトの削除の方法

「例外サイト設定 エントリー一覧」画面で表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。

3 種別を選択し、例外サイトを入力する

種別：[許可] または [禁止] を選択します。

例外サイト：URL を入力してください。

（例）<http://www.aterm.jp/support/>

ホスト名

パス名

※ 入力可能な文字については、設定画面上のポップアップヘルプをご覧ください。（項目名の「？」をクリックして確認できます。）



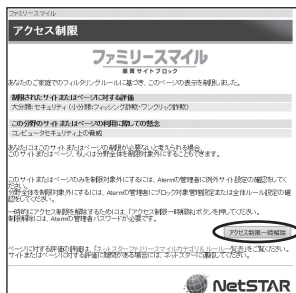
4 「設定」をクリックする

5 本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返して設定する

6 「保存」をクリックする

ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。



※画面は一例です

「アクセス制限一時解除」をクリックして、クイック設定 Web 用のユーザ名と管理者パスワード (P2-4) を入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※ 一時解除される時間は 30 分です。

※ 画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

アルプス システム インテグレーション株式会社 お問い合わせ先

「悪質サイトブロック ファミリースマイル」についての詳細は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.alsi.co.jp/security/fs/>

「悪質サイトブロック ファミリースマイル」設定前のお問い合わせについて

- ・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
 - ・本サービスの申し込み方法について
 - ・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
- 「FAQ よくあるご質問」で確認してください。

「悪質サイトブロック ファミリースマイル」のお問い合わせについて

「お問い合わせ」フォームにてお問い合わせください。

※ 本商品に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。



4



便利な機能

4

本商品の USB ポートでは、接続した USB デバイスのファイルを、本商品の LAN 側に接続した複数のパソコン（5 台まで）で共有したり、WAN 側から WWW ブラウザを使用して表示・操作することができます。また、USB カメラを接続して、WAN 側から WWW ブラウザで画像を表示することもできます。

USB デバイスを取り付けるとき

USB デバイスを取り付ける場合は、下記のことにご注意ください。


- ・必ず本商品の本体を押さえて取り付けてください。
- ・コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。



お知らせ

- USBポートで利用できるUSBデバイスは、下記のみです。(2016年9月現在)
 - ・ マスストレージクラスのUSBデバイス
 - フォーマット形式は「FAT32」または「FAT16」。
 - (「FAT32」の場合、1つのファイルの最大容量は4GBまで、ボリュームサイズは2TBまでです。ボリュームサイズが2TBを超えているUSBデバイスを本商品に接続した場合は認識しません。フォーマットツールによっては認識する場合がありますが、サポート対象外となります。)
 - ・ UVC (USB Video Class) 規格のバージョン 1.0a または 1.1 に対応したUSBカメラ
 - ネットワーク分離機能が有効の場合、USBカメラ、USBストレージへのアクセスができません。
- クイック設定 Web の [Wi-Fi (無線 LAN) 設定] - [Wi-Fi 詳細設定] の [対象ネットワークを選択] でネットワークを選択して、[Wi-Fi 機能設定] の [ネットワーク分離機能] で [使用する] のチェックを外してください。

お願い

- 規格外のUSBデバイスを接続した場合、装置破損の恐れがありますので、ご注意ください。なお、動作確認済みのUSBデバイス情報は、サポートページでご確認ください。(動作確認済みのUSBデバイス以外は、サポート対象外となります。また、USBハブはご利用できませんのでご注意ください。)
 - USBポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流(500mA以上)となった場合、自動的に給電を遮断します。
- 復旧させるには、過電流保護状態のUSBポートからUSBデバイスを取り外したあと、本商品に接続したパソコンからクイック設定 Web で状態を復帰させます。操作方法は、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。
- ECOモードの設定パターンを「設定1」(初期値)または「設定2」に設定した場合は(●P4-16)、次のことにご注意ください。
 - ・ ECOモード起動中は、USBポートは停止されます。
 - ・ USBポートをご利用中にECOモードを起動しないようにしてください。(進行中のファイル操作が失敗します。)
 また、ECOモードの起動時刻を設定してある場合 (●P4-18)、起動時刻になると自動的にUSBポートは停止されます。
 - USBポートに接続したUSBデバイス内のファイルへアクセス中に、USBデバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。

アクセス方法

パソコンから USB デバイス内のファイルへは、次の手順でアクセスします。

ここでは Windows 10 の場合を主な例に説明します。

※ WWW ブラウザでアクセスしたい場合は、「USB ファイル HTTP 公開機能（ブラウザファイル共有機能）」（P4-9）を参照してください。

1 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「ファイル名を指定して実行」をクリックする

※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート]（Windows のロゴボタン）－ [すべてのプログラム] － [アクセサリ] － [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

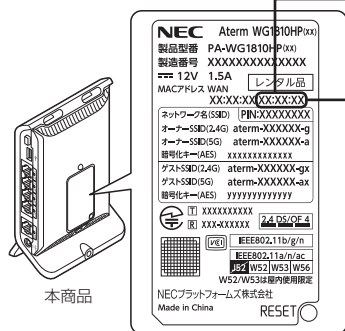
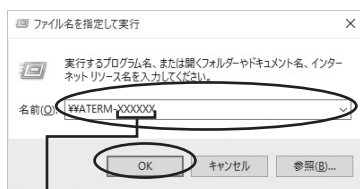
2 [名前] の欄に、「¥¥ATERM-」と本商品の WAN 側 MAC アドレス下 6 桁（「:」を除く）を入力し、[OK] をクリックする

入力例：

本商品の WAN 側 MAC アドレスが「00 : 12 : 34 : 56 : 78 : 90」の場合

¥¥ATERM-567890

※ 本商品の WAN 側 MAC アドレスは、本商品の側面ラベルに記載しています。



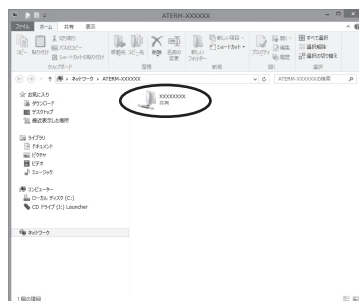
WAN 側 MAC アドレスの下 6 桁
（「:」は除いてください。）

※ 「ATERM-XXXXXX」（XXXXXX は本商品の WAN 側 MAC アドレス下 6 桁）は、コンピュータ名になります。

コンピュータ名は、クイック設定 Web の [詳細設定] － [USB ストレージ設定] で変更可能です。

※ ユーザ名とパスワードによるアクセス制限をかけている場合は（P4-5）、設定したユーザ名とパスワードを入力して [OK] をクリックしてください。（P4-6 の ① 参照）

3 USBデバイス名が表示されるので、ダブルクリックする



4 USBデバイス内のファイルが表示される

アクセス権限を設定する

本商品のLAN側に接続したパソコンからUSBデバイス内のファイルへアクセスする際、ユーザ名・パスワード入力によるアクセス制限をかけたり、読み取り専用に設定するなどのアクセス権限を設定することができます。設定はクイック設定 Web で行います。

1 クイック設定 Web を起動する（●P2-4）

2 「詳細設定」－「USBストレージ設定」を選択する

3 「ファイル共有機能設定（ネットワークコンピュータ用）」の「ユーザー認証」で「使用する」にチェックを入れる



4 「ユーザー名」でユーザ名を入力する

※ 20 文字以内の任意の半角英数字を入力します。

ユーザ名メモ欄 (ユーザ名はこちらに控えてください。)	
--------------------------------	--

5

【パスワード】でパスワードを入力する

※ 64 文字以内の任意の半角英数字を入力します。

パスワードメモ欄 (パスワードはこちらに控えておいてください。)	
-------------------------------------	--

6

【アクセス権限】で、権限を選択する

※読み取り専用を設定する場合は [READ ONLY (読み取り専用)]、読み取り・書き込みどちらも行えるように設定する場合は [FULL ACCESS (読み書き可能)] を選択します。

7

【設定】をクリックする

8

【保存】をクリックする

9

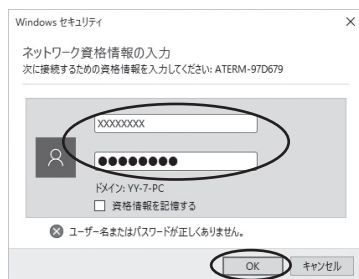
クイック設定 Web を閉じる



上記手順でアクセス権限を設定したあと、USB デバイス内のファイルにアクセスした場合は、右の画面が表示されます。

「ユーザー名」「パスワード」に P4-5 の手順 4、上記の手順 5 で設定した値を入力して、[OK] をクリックします。

※ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合は、上記の手順で設定し直してください。

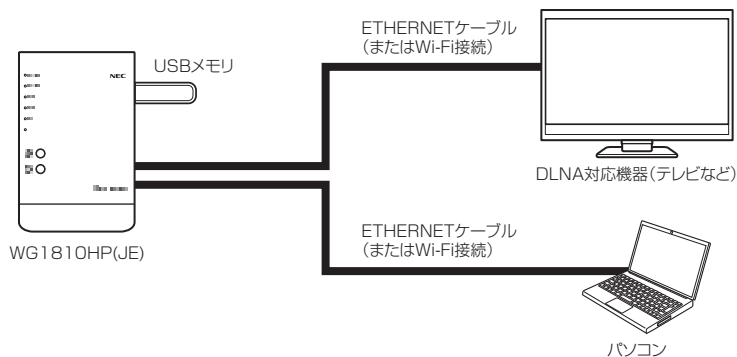


(画面は Windows 10 の場合の例です。)

メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する

本商品のUSBポートに接続したUSBメモリや外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、本商品のLAN側に接続したDLNA対応機器で視聴することができます。

【利用例】



設定方法

- 1 本商品のUSBポートにUSBメモリや外付けハードディスクを接続する
- 2 本商品のLAN側に接続したパソコンから、本商品のUSBポートにアクセスする(●P4-4)
- 3 メディアサーバ用のフォルダ「contents」に、視聴したいコンテンツを保存する
メディアサーバ用のフォルダ「contents」は、USBメモリや外付けハードディスク内に自動生成されています。
- 4 本商品のLAN側に接続したDLNA対応機器でコンテンツを視聴する
コンテンツの視聴方法は、DLNA対応機器の取扱説明書などを参照してください。

お願い

- 保存できるコンテンツの数は、1,000 件までとなります。
それ以上は保存できませんのでご注意ください。
- メディアサーバ機能使用中でも、ファームウェアの自動バージョンアップ機能により本商品が再起動する場合があります。
- コンテンツ視聴中に USB メモリや外付けハードディスク内のファイルサーバへファイルなどのアップロードを同時にした場合、視聴映像が乱れる場合があります。



お知らせ

- 本商品のメディアサーバ機能が「使用しない」に設定されていると、DLNA 対応機器でコンテンツを視聴することができません。(工場出荷状態は「使用する」に設定されています。) クイック設定 Web の「詳細設定」－「その他の設定」－[メディアサーバ設定] で、「メディアサーバ機能」を「使用する」に設定してください。

USB ファイルHTTP 公開機能(ブラウザファイル共有機能)

本商品に接続した USB デバイス内のファイルを WWW ブラウザで表示・操作することができます。設定はクイック設定 Web で行います。

設定方法

- 1 クイック設定 Web を起動する (●P2-4)
- 2 「詳細設定」－「USB ストレージ設定」を選択する

- 3 「ファイル共有機能設定(ブラウザ用)」の「ブラウザファイル共有機能」で「使用する」にチェックを入れる



- 4 「[アカウント]」でアカウント種別を選択する

※セキュリティを高めたい場合は、「専用アカウント」を選択し、「ユーザー名」「パスワード」を設定してください。
(64 文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、
_ (アンダースコア) が入力できます。)



- 5 「[アクセスポート番号]」でポート番号を設定する

※初期値は「15789」です。



初期値の「15789」はお使いの環境では使用できない場合があります。
クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で利用可能ポートを確認してください。入力できる値は利用可能ポートの範囲内の値です。

- 6 「設定」をクリックする

4

便利な機能

- 7 [保存] をクリックする
- 8 クイック設定 Web を閉じる

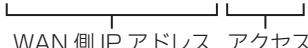
アクセス方法

「ブラウザファイル共有機能」を設定後(●P4-9)、本商品に接続したUSBデバイス内のファイルを WWW ブラウザで表示・操作する場合は、次の手順でアクセスします。

＜WAN 側からアクセスする場合＞

- 1 パソコンなどを起動する
- 2 WWW ブラウザのアドレス欄に、本商品の WAN 側 IP アドレスとアクセスポート番号（初期値は「15789」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter] キーを押す


例：http://XXX.XXX.XXX.XXX:15789


WAN 側 IP アドレス アクセスポート番号

 - 本商品の WAN 側 IP アドレスは、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で確認することができます。
 - アクセスポート番号は、P4-9 の手順 5 で設定した番号です。（初期値：15789）「15789」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。
- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする
 - 「ユーザー名」と「パスワード」は、P4-9 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P4-9 の手順 4 で [アカウント] を初期値のまま [クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント] に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザ名とパスワードを入力してください。（●P2-4）
 - P4-9 の手順 4 で [アカウント] を [専用アカウント] にしてユーザ名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください。
- 4 「USB ストレージ」画面が表示されるので、「ファイル／フォルダー一覧」からファイルをクリックしてアクセスする

< LAN 側からアクセスする場合 >


- 1 パソコンなどを起動する
- 2 WWW ブラウザのアドレス欄に、「aterm.me」とアクセスポート番号（初期値は「15789」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter] キーを押す
 例：http://aterm.me:15789


 アクセスポート番号

 - 「aterm.me」を本商品の IP アドレス（工場出荷時は 192.168.10.1）にしてもアクセスできます。
 - アクセスポート番号は、P4-9 の手順 5 で設定した番号で、初期値は「15789」です。「15789」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。
- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする
 - 「ユーザー名」と「パスワード」は、P4-9 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P4-9 の手順 4 で [アカウント] を初期値のまま [クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント] に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザ名とパスワードを入力してください。（➡P2-4）
 - P4-9 の手順 4 で [アカウント] を [専用アカウント] にしてユーザ名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください。
- 4 「USB ストレージ」画面が表示されるので、「ファイル／フォルダー一覧」からファイルをクリックしてアクセスする



お知らせ

- WWW ブラウザで表示されたファイルの操作については、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。
- アクセスポート番号は、他のサービスで使用中または予約済みのポート番号は利用できません。

USB カメラ機能

本商品の USB ポートに接続した USB カメラの画像を WWW ブラウザで表示することができます。設定はクイック設定 Web で行います。

設定方法

1 クイック設定 Web を起動する (●P2-4)

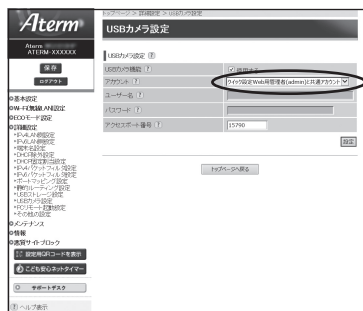
2 「詳細設定」－「USB カメラ設定」を選択する

3 「USB カメラ機能」の「使用する」にチェックを入れる



4 「アカウント」でアカウント種別を選択する

※セキュリティを高めたい場合は、「専用アカウント」を選択し、「ユーザー名」「パスワード」を設定してください。
(64 文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、
_ (アンダースコア) が入力できます。)



5 「アクセスポート番号」でポート番号を設定する

※初期値は「15790」です。



初期値の「15790」はお使いの環境では使用できない場合があります。
クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で利用可能ポートを確認してください。入力できる値は利用可能ポートの範囲内の値です。


6 「設定」をクリックする

- 7 [保存] をクリックする
- 8 クイック設定 Web を閉じる

アクセス方法

「USB カメラ機能」を設定後(●P4-12)、本商品に接続した USB カメラの画像を WWW ブラウザで表示する場合は、次の手順でアクセスします。

＜WAN 側からアクセスする場合＞

- 1 パソコンなどを起動する
- 2 WWW ブラウザのアドレス欄に、本商品の WAN 側 IP アドレスとアクセスポート番号（初期値は「15790」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter] キーを押す
 例：http://XXX.XXX.XXX.XXX:15790

 WAN 側 IP アドレス アクセスポート番号
 - 本商品の WAN 側 IP アドレスは、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で確認することができます。
 - アクセスポート番号は、P4-12 の手順 5 で設定した番号です。（初期値：15790）「15790」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。
- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする
 - 「ユーザー名」と「パスワード」は、P4-12 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P4-12 の手順 4 で [アカウント] を初期値のまま [クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント] に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザ名とパスワードを入力してください。（●P2-4）
 - P4-12 の手順 4 で [アカウント] を [専用アカウント] にしてユーザ名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください。
- 4 「USB カメラ」画面で、[表示開始] をクリックして表示する

< LAN 側からアクセスする場合 >

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザのアドレス欄に、「aterm.me」とアクセスポート番号（初期値は「15790」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter] キーを押す

例：http://aterm.me:15790

└─┬─┘
アクセスポート番号

- 「aterm.me」を本商品の IP アドレス（工場出荷時は 192.168.10.1）にしてもアクセスできます。
- アクセスポート番号は、P4-12 の手順 5 で設定した番号で、初期値は「15790」です。「15790」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。


3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、P4-12 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P4-12 の手順 4 で [アカウント] を初期値のまま [クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント] に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザ名とパスワードを入力してください。（➡P2-4）
 - P4-12 の手順 4 で [アカウント] を [専用アカウント] にしてユーザ名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

4 「USB カメラ」画面で、[表示開始] をクリックして表示する



お知らせ

- WWW ブラウザで表示された画像の設定内容については、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。
- アクセスポート番号は、他のサービスで使用中または予約済みのポート番号は利用できません。

USB デバイスを取り外すとき

USB デバイスを取り外す場合は、必ず下記の手順で USB デバイスの停止を行ってから取り外してください。

USB デバイスの停止はクイック設定 Web で行います。

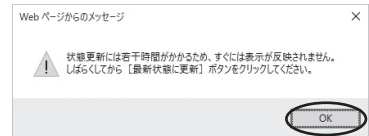
- 1 クイック設定 Web を起動する (➡P2-4)
- 2 「情報」－「USB デバイス情報」を選択する
- 3 「最新状態に更新」をクリックする



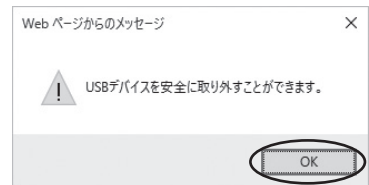
- 4 停止したい USB デバイスの【停止／復帰】で、【停止】をクリックする



- 5 【OK】をクリックする



- 6 【OK】をクリックする



- 7 USB デバイスを取り外す

※必ず装置本体を押さえて取り外してください。

ECO モードでは、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。
ECO モードを起動するには、本商品側面の ECO ボタンを使用します。



お知らせ

- ECO ボタンは、工場出荷時で無効（ECO モードを起動できない状態）になっています。
ECO ボタンを有効にするには、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」で「ECO 機能」を「通常 ECO」に設定してください。

ECO モードでの制限内容（ECO 設定パターン）

ECO モードには下記の設定パターンがあります。工場出荷時の状態では、「設定 1」に設定されています。変更する場合は、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」の「ECO 設定パターン」で設定変更してください。

※ 変更の際、通信がいったん切断される場合があります。

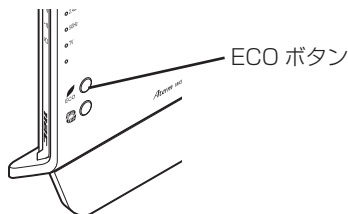
なお、下記のいずれの場合も、ECO モード起動時は POWER ランプ以外の前面・背面のランプが消灯します。

ECO 設定パターン	説明	有線 LAN	Wi-Fi	USB ポート
設定 1 (初期値)	LAN ポートの通信速度が最大 100Mbps で動作します。 (WAN ポートの通信速度は変わりません。) Wi-Fi 通信、USB ポートは利用できません。	最大 100Mbps	停止	停止
設定 2	LAN ポートの通信速度が最大 100Mbps で動作します。 (WAN ポートの通信速度は変わりません。) Wi-Fi 通信は通信速度が最大 86.7Mbps となります。 USB ポートは利用できません。	最大 100Mbps	最大 86.7Mbps (※)	停止
設定 3	LAN ポートの通信速度が最大 100Mbps で動作します。 (WAN ポートの通信速度は変わりません。) Wi-Fi 通信は通信速度が最大 86.7Mbps となります。 USB ポートがご利用になれます。	最大 100Mbps	最大 86.7Mbps (※)	動作

(※) Wi-Fi 機能が「使用する」に設定されている必要があります。

ECO モードを起動する

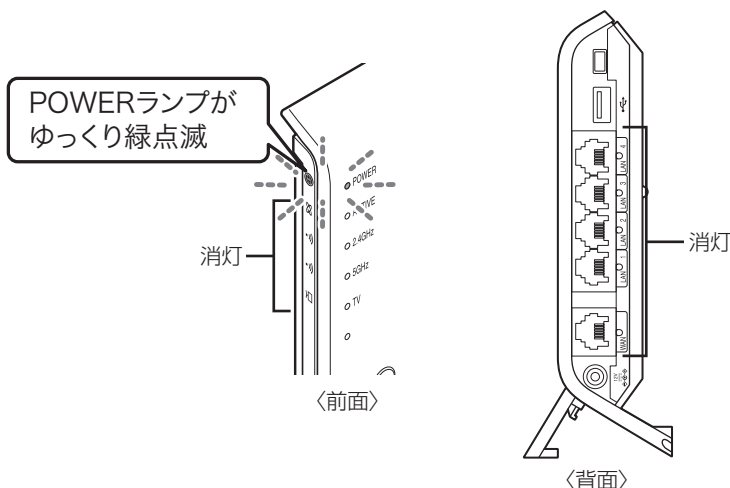
ECO モードを起動するには、本商品側面の ECO ボタンを 5 秒以上押します。
(停止する場合は、再度、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。通常モードに戻ります。本商品の電源をいったん切って入れ直しても通常モードに戻ります。)



誤ってらくらくスタートボタンを押さないようご注意ください。
らくらくスタートボタンを押すと、らくらく無線スタートが起動してしまい、POWER ランプが緑点滅したあと 10 秒間赤点灯します。その後 POWER ランプが緑点灯に戻りますので、ECO モードを正しく起動してください。

ECO モード起動中のランプ状態

ECO モードでは、POWER ランプがゆっくり緑点滅し、他のランプはすべて消灯します。
(背面の WAN ランプ、LAN ランプも消灯します。)





お知らせ

- ECO モードを起動すると、LAN ポートの通信速度が変わるため、リンクが一時的に切断されます。通信中の場合はご注意ください。
- あらかじめ起動／停止時刻を設定すれば、自動的に ECO モードを起動／停止することができます。設定方法は下記のとおりです。詳細は、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ 設定する場合は、クイック設定 Web の「メンテナンス」－[時刻設定]にある[自動時刻設定機能]を初期値のまま[自動設定]にして、インターネットに接続可能な環境でご利用ください。

- ① クイック設定 Web を起動する (●P2-4)
- ② [ECO モード設定]－[ECO モード設定] を選択する
- ③ [ECO 機能] で [通常 ECO] を選択する
- ④ [ECO 設定パターン] を選択する (●P4-16)
- ⑤ [省電力型イーサネット (EEE) 機能] (●P25) を使用する場合は [使用する] にチェックを入れる (初期値: [使用しない])
- ⑥ [タイマ動作] の [使用する] にチェックを入れる
- ⑦ ECO モードの起動／停止時刻を設定する (画面は、午前 2 時から午前 5 時まで ECO モードにする場合の例です)

ECOモード設定	
ECO機能	通常ECO
ECO設定パターン	設定1(Wi-Fi: 停止, 有線LAN: 100Mbps, USB: 停止)
省電力型イーサネット (EEE)機能	<input type="checkbox"/> 使用する
タイマ動作	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
ECOモード起動時刻	02 時 00 分
ECOモード停止時刻	05 時 00 分

- ⑧ [設定] をクリックする
- ⑨ [OK] をクリックする
- ⑩ [OK] をクリックする
- ⑪ [保存] をクリックする

オート ECO モード機能

本商品では、ある特定の機能について、その使用状況に応じて自動的に ECO モードを起動／解除することができます。

本機能を使用するには、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」にある「ECO 機能」で、「オート ECO」を選択し、「設定」－「保存」をクリックしてください。

なお、2016 年 9 月現在では、Wi-Fi 接続の使用状況に応じた「Wi-Fi オート ECO モード」にのみ対応しています。

< Wi-Fi オート ECO モード >

子機からの Wi-Fi 接続が一定時間（約 240 秒）以上ない場合、自動的に Wi-Fi オート ECO モードが起動し、無線回路の一部が停止されます。

※ LAN ポートおよび WAN ポートの通信速度や USB ポートの動作、ランプ状態に変更はありません。

本機能は、起動中、子機から Wi-Fi 接続された場合に、自動的に通常モードに戻ります。

なお、本機能は、2.4GHz 帯、5GHz 帯で独立して起動します。

このため、2.4GHz 帯、5GHz 帯どちらも起動中に 2.4GHz 帯の子機が Wi-Fi 接続された場合、2.4GHz 帯のみ通常モードに戻り、5GHz 帯は Wi-Fi オート ECO モードのまま動作します。

オート ECO モードの種類	説明	有線 LAN	Wi-Fi	USB ポート
Wi-Fi オート ECO モード	無線回路の一部が停止されます。 LAN ポートおよび WAN ポートの通信速度、USB ポートの動作、ランプの状態に変更はありません。	通常どおり	無線回路の一部が停止	動作

4

便利な機能



お知らせ

- Wi-Fi オート ECO モード起動中に子機から Wi-Fi 接続する場合、無線回路の一部が停止しているため、Wi-Fi 接続しにくい場合があります。その場合は、いったん本商品に近い場所で Wi-Fi 接続してください。

「こども安心ネットタイマー」を使うと、本商品へ Wi-Fi 接続するスマートフォン、タブレット、ゲームなどの端末ごとに接続できる時間帯を制限することができます。

保護者の方がお子様のインターネット接続を管理したいときに便利な機能です。

本機能では、次のことができます。

- パソコンやタブレットなどの端末からこどもの端末のスケジュール設定ができる
- いろいろなスケジュール設定方法が用意されている（📖ユーザーズマニュアル）
 - ・ 管理する端末（おとなの端末とよびます）からスケジュール設定をするためのテンプレートが用意されています。
 - ・ 曜日ごとに、24 時間を 30 分単位でアクセスを許可することができます。
 - ・ 登録したスケジュール表の設定を、他のこどもの端末のスケジュールにコピーすることができます。
 - ・ スケジュール設定を一時的に許可したり制限したり、本日だけの設定ができます。
- 本商品に接続中の端末が一目でわかる
- お子様勝手にアクセス許可に設定しないようにできる

！ こども安心ネットタイマーをご利用する場合のご注意

- クイック設定 Web の管理者パスワードを設定して、パスワードをお子様に知られないようにしてください。
- 「おとなの端末」と「こどもの端末」を設定した場合、スケジュールなどの設定は「こどもの端末」からは設定することができなくなります。「おとなの端末」から設定してください。

こども安心ネットタイマーの設定

以下は、スマートフォン／タブレット（Android 端末）を使用している場合の例です。設定を行う前に、あらかじめ時刻が設定されていることを確認してください。

こども安心ネットタイマーを起動する

- 1 「Aterm スマートリモコン」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする

※パソコンの場合は、「Aterm スマートリモコンアプリは必要ありません。
クイック設定 Web (P2-4) の左下のメニューボタン「こども安心ネットタイマー」をクリックして、手順 6 に進んでください。

- 2 スマートフォンやタブレット端末のホーム画面から、「Aterm スマートリモコン」のアイコンをタップする



3 「こども安心ネットタイマー」をタップする

4 右画面が表示される

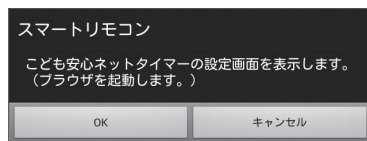
※利用許諾契約書が表示された場合は、よく読んで「同意」をタップしてください。



5 「Aterm スマートリモコン」に対応した Aterm 機器が複数ある場合は選択画面が表示されるので、設定したい Aterm 機器をタップする

6 画面にしたがって、「OK」をタップする

※エラー画面が表示されたら、画面のメッセージにしたがってください。



7 「アプリケーションを選択」画面が表示された場合は、使用するブラウザをタップし、[常時] または [1 回のみ] をタップする

※標準ブラウザがある場合は、標準ブラウザを選択してください。

こども安心ネットタイマーでスケジュールを設定する

スケジュール表を設定する端末「おとなの端末」とアクセス制限する端末「こどもの端末」を設定します。

8 WWW ブラウザで本商品の「こども安心ネットタイマー」の「ホーム」画面が表示される



(次ページに続く)

9

端末名 [Android] をタップする

※ [Android] と表示される端末をおとなの端末にする例です。お使いの端末にあわせて読み替えてください。



端末名が「端末 X」(X=1,2,3...) と表示される場合があります。



10

端末情報設定で、「おとなの端末」をタップして選択する



11

端末名に任意の名前を入力して、「設定する」をタップする

12

「ホーム」をタップして、「こども安心ネットタイマー」の「ホーム」画面に戻ります。



スケジュール表を設定する端末は、「おとなの端末」として登録することをお勧めします。

- 「ホーム」画面にて、どれが管理者の端末かがわかりやすくなります。
- 誤って「こどもの端末」として登録してしまい、即時に Wi-Fi 接続が制限されてしまうことを防ぎます。

13 アクセス制限したい端末をタップする

ここでは「端末 1」を例にして、こどもの端末のスケジュールを設定します。



14 端末情報設定で、「端末区分を選択してください」をタップする

端末名	さつき(スマホ)	設定する
MACアドレス	設定: 4桁 5桁 1桁 2桁 3桁 4桁 5桁 6桁 7桁 8桁 9桁 0桁	

15 端末情報設定で、「こどもの端末」をタップして選択する

16 端末名に任意の名前を入力して、「設定する」をタップする



「こどもの端末」として、はじめて登録する場合は、以下のメッセージが表示されます。
[OK] をタップして、手順 18 に進んでください。

「こどもの端末」のスケジュールが設定されていません。次にスケジュール設定を行います。よろしいですか？

(スケジュールを設定しない場合は、常に「制限」となります。)

OK

キャンセル

17 「スケジュール設定をする」をタップする

18 スケジュールを設定したい時間帯のタブをタップする

画面は、12時から18時の時間帯を選んだ例です。

時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
許可時間合計	0.0時間	0.0時間	0.0時間	0.0時間	0.0時間	0.0時間	0.0時間
12:00	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
12:30	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
13:00	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
13:30	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
14:00	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
14:30	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒

19 許可したい時間帯をタップし、「設定する」をタップする

画面は、月曜日の14:00～を許可した例です。

※曜日ごとに設定できます。


時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
許可時間合計	7.0時間	7.0時間	7.0時間	7.0時間	7.0時間	7.0時間	7.0時間
12:00	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
12:30	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
13:00	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
13:30	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
14:00	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒
14:30	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒	🕒

20 「設定が完了しました」メッセージが表示されるので、「OK」をタップする

「子ども安心ネットタイマー」の「ホーム」画面に戻ります。

これで設定は完了です。ほかの端末を設定する場合は、手順13から繰り返してください。

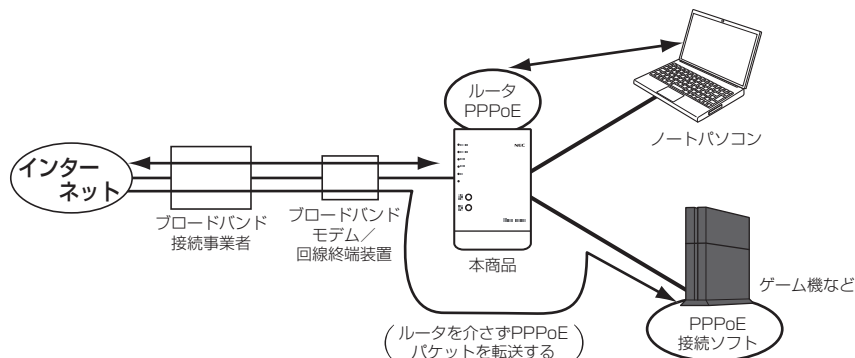


その他に、いろいろなスケジュール設定方法があります。詳細は、「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

PPPoEブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoEブリッジ機能を使用して、接続できます。

本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 16 台までです。PPPoEブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なりますので、ご利用の接続事業者にご確認ください。



■ PPPoEブリッジ機能でできること

(1) 次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

- Windows 10/8.1 の場合
リモート デスクトップ、Windows リモート アシスタンス
- Windows 7 の場合
リモート デスクトップ、Windows リモート アシスタンス
- Windows Vista の場合
リモート デスクトップ、Windows リモート アシスタンス、
Windows ミーティング スペース

(2) PPPoE 対応のゲーム機 (「プレイステーション 4」など) を接続できます。

(3) PPPoEブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、本商品のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接本商品に接続しているブロードバンドモデム/回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

● お願い ●

- アプリケーションの操作方法是、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。
- PPPoEブリッジ機能では、外部からのアクセスが可能になりますので、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

IP パケットフィルタリング機能

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

(📖ユーザーズマニュアル)

ポートマッピング機能

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。

(📖ユーザーズマニュアル)

LAN 側ジャンボフレーム透過機能

LAN ポートに接続される機器間での伝送速度が 1000Mbps の場合、データの送受信単位（フレーム）のサイズを大きくすることで、LAN ポート間の対向通信を効率よく行うことができます。

設定方法の詳細については、「📖ユーザーズマニュアル」を参照してください。

対向通信するすべての機器がジャンボフレームに対応している必要があります。

なお、Wi-Fi 接続や WAN ポート（インターネット）との転送ではご利用になれません。通常は、初期値（「使用しない」）のままご使用ください。



5



トラブルシューティング

本商品を設置・接続するにあたって、トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

該当項目がない場合や対処をしてもトラブルが解決しない場合は、本商品を初期化し、最初から設定し直してみてください。

※ 初期化すると、本商品のすべての設定が初期値に戻りますので、ご注意ください。なお、初期化する前にクイック設定 Web の [メンテナンス] - [設定値の保存&復元] にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同設定画面にて復元することができます。

- ・ 設置に関するトラブル (☛ 下記)
- ・ ユーティリティに関するトラブル (☛ P5-8)
- ・ ご利用開始後のトラブル (☛ P5-10)

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品の POWER ランプは緑点灯していますか？ (※ 1) (※ 2)

↓ はい

→ いいえ
(a 参照 ☛ P5-3)

本商品背面の WAN ランプは緑点灯していますか？ (※ 1)

↓ はい

→ いいえ
(b 参照 ☛ P5-3)

Wi-Fi 通信はできますか？ (Wi-Fi をご利用の場合)

↓ はい

→ いいえ
(c 参照 ☛ P5-4)

パソコンに IP アドレスが設定されていますか？
(確認方法は、P2-3 を参照してください)

↓ はい

→ いいえ
(d 参照 ☛ P5-5)

本商品の設定が行えますか？

WWW ブラウザ (クイック設定 Web) で本商品の設定画面が表示できますか？

↓ はい

→ いいえ
(e 参照 ☛ P5-6)

設定後、本商品の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？ (※ 1)

↓ はい

→ いいえ
(f 参照 ☛ P5-7)

- ・ 設定後、本商品の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？ (※ 1)
- ・ WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？
(クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] の [WAN 側状態] に IP アドレスが表示されていますか？)

↓ はい

→ いいえ
(g 参照 ☛ P5-7)

インターネットに接続できましたか？

↓ はい

→ いいえ
(h 参照 ☛ P5-7)

(※ 1) ECO モード起動中は、POWER ランプは緑点滅し、他のランプは消灯します。

(※ 2) 本商品の電源を入れるといった前面／側面 (表) のすべてのランプが緑点灯します。

a POWER ランプが緑点灯しない

電源が入っていません。

- AC アダプタが外れている
→ AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。
- AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている
→ 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。
- AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外してご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b 背面の WAN ランプが緑点灯しない

- ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない
→ ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。
- 本商品の WAN ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
WAN ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因となることがあります。
- ECO モードを起動している
→ ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他のランプは消灯します。
ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。
- ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。
接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリ 5e 以上ストレート）」であることを確認してください。
- 本商品の WAN ポートと本商品の LAN ポートを添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。
背面の WAN ランプが緑点灯する場合
本商品は、問題ありません。
ブロードバンドモデム／回線終端装置の故障が考えられます。
緑点灯しない場合
本商品を初期化してみてください。
それでも解決しない場合は本商品の故障が考えられます。ご契約のプロバイダのサポート窓口にお問い合わせください。

G Wi-Fi 通信ができない

☐ 本商品に接続できない

- お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。
→ ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。
その場合には、次の手順で設定を確認してください。
① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける
(アドレス: 192.168.10. *, TCP ポート番号: 23/53/75/80、UDP ポート番号: 69/161)
② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする
停止方法は、パソコンメーカーへお問い合わせください。
- ECO モードを起動している
→ ECO モードを起動中は、ECO 設定パターンによっては Wi-Fi 通信が利用できなくなる場合があります。(ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点減し、他のランプは消灯します。)
Wi-Fi 通信をご利用になる場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押して、ECO モードを停止するか、他の ECO 設定パターンを選択してください。(●P4-16)
- 暗号化キーの設定が本商品と子機とで一致しているかを確認してください。(㊟ユーザーズマニュアル)
- 「らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXに関するトラブル」(●P5-9)も参照してください。

☐ 本商品と子機間の電波状態が悪い

- 電波の届く範囲まで子機を移動したり、本商品や子機の向きを変えたりして電波状態を確認してください。

☐ 無線 LAN 対応のプリンタから Wi-Fi 接続したい

- プリンタの無線機能を有効 (ON) にしてから、本商品のネットワーク名・暗号化キーをプリンタに設定してください。
設定方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください。なお、WPS に対応している場合は、WPS で Wi-Fi 設定してください。(●P2-17)

☐ ゲスト SSID が見つからない

- ゲスト SSID は、初期値で無効に設定されています。クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で Wi-Fi 機能を「使用する (常時)」または「使用する (時間指定)」に設定してから、Wi-Fi 接続してください。
また、IEEE802.11b に対応している子機によっては、ゲスト SSID をサーチできない場合があります。この場合、ネットワーク名 (SSID) を直接設定することにより、接続可能となります。
例) <ゲスト SSID の初期値>
本商品側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」の下段に初期値が記載されています。
2.4GHz : aterm-xxxxxx-gx
5GHz : aterm-xxxxxx-ax

d パソコンに IP アドレスが設定されていない

□ パソコンの IP アドレスが「192.168.10.XXX」に設定されていない

- パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。

- パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる
起動後、P2-3 の「IP アドレスの確認方法」を参照してパソコンの IP アドレスを確認する
- 次の手順で IP アドレスを取り直す

< IP アドレスの再取得 >

< Windows 10/8.1/7 および Windows Vista の場合 >

- ①「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コマンドプロンプト（管理者）」をクリックする
※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート]（Windows のロゴボタン）→ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。
- ②「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- ③「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する
- ④「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す
- ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

< Mac OS X または OS X の場合 >

以下は OS X v10.10 の場合の例です。

- ① アップルメニューの「システム環境設定」を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- ② [Ethernet] を選択する
（本商品に Wi-Fi 接続している場合は [Wi-Fi] を選択する）
- ③ [詳細] をクリックする
- ④ [TCP/IP] タブをクリックする
- ⑤ [DHCP リースを更新] をクリックする
- ⑥ IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）
- ⑦ [OK] をクリックする

< iOS の場合 >

以下は iOS 8.1 の場合の例です。

- ①「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
- ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）をタップする
- ④「DHCP リースを更新」をタップする
- ⑤「リースを更新しますか？」で [更新] をタップする

< Android の場合 >

以下は Android 5.0 の場合の例です。

- ① [設定] をタップする
- ②「無線とネットワーク」にある [Wi-Fi] をタップする
- ③ Wi-Fi をいったん OFF にして、再度 ON にする
※ Android 5.0 の場合は、左上にある [ON] をタップすると [OFF] に、[OFF] をタップすると [ON] になります。

- Wi-Fi をご利用の場合は、「c.Wi-Fi 通信ができない」(P5-4)を参照して Wi-Fi 通信を確立させてください。

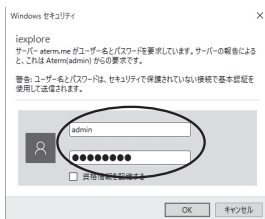
e WWW ブラウザで本商品の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

☐ WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://aterm.me/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない

- プロキシの設定をしていませんか
→ プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。
Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。
① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする
- ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「aterm.me」を入れる
- 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。
「http://192.168.10.1」です。
・ IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。
- お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- Wi-Fi 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、ゲスト SSID または WEP 専用 SSID に Wi-Fi 接続していると、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、いったん有線で本商品とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度 Wi-Fi 接続してください。

☐ WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求される

- 「ユーザー名」(上段) には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段) には、WWW ブラウザで本商品に最初にアクセスした際に、登録した管理者パスワードを入力してください。(管理者パスワードを忘れてしまった場合は、P5-8 を参照してください。)



□ クイック設定 Web が開かない

- JavaScript が無効に設定されている
→ WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(●P5-5)
- Windows 8.1 の Internet Explorer でクイック設定 Web を起動する際、[このサイトではプライベート ネットワークへアクセスできません] の画面 (下記) が表示された場合は、[アクセスを有効にする] をクリックしてください。



f ACTIVE ランプが緑点灯しない

□ ACTIVE ランプが緑点灯しない

- パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが緑点滅し、しばらくして緑点灯に変わります。

□ ACTIVE ランプが消灯している

- ECO モードを起動している
→ ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他のランプは消灯します。
ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。

g WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

□ ACTIVE ランプが緑点灯しない (クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない)

- ブロードバンドモデム/回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。
- ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っているか確認してください。
- ブロードバンドモデム/回線終端装置の設定が合っているか確認してください。
- 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと本商品の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20 ~ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。

□ ACTIVE ランプが消灯している

- ECO モードを起動している
→ ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他のランプは消灯します。
ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。

h インターネットに接続できない

FTTH 接続に関するトラブル

□ ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる

- WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。
→ LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。(●P33)

ユーティリティに関するトラブル

クイック設定 Web に関するトラブル

□ 管理者パスワードを忘れてしまった

- 本商品を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。

なお、「管理者パスワードの初期設定」時に「管理者専用認証スルー機能」を「使用する」に設定していれば、設定時と同じ端末からクイック設定 Web を起動する場合、ユーザ名・管理者パスワード入力が省略できます。

□ 「設定」をクリックしても、状態が反映されない

- 「保存」をクリックしていない

→ 項目によっては、「設定」をクリックしても状態は反映されません。左側フレーム内の「保存」をクリックし、本商品を再起動する必要があります。

※ 再起動後有効となる項目

- ・ 「詳細設定」－「その他の設定」－「インターフェース設定」の「WAN 側疑似 MAC アドレス機能」



□ WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://aterm.me/」と入力すると、違う機種のクイック設定 Web が表示される

- WAN 側に NEC 製のホームゲートウェイ（Aterm シリーズ）が接続されている

→ 「http://aterm.me/」と入力すると、本商品ではなく、ホームゲートウェイ（Aterm シリーズ）のクイック設定 Web 画面にアクセスする場合があります。本商品の IP アドレスを入力してください。

□ ブラウザからの応答がなくなりました

- クイック設定 Web では、「設定」をクリックすると設定値は即時有効となりますので、「詳細設定」－「IPv4 LAN 側設定」、または「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の変更後、「設定」をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させて、以下の操作を行ってください。

- ・ 有線接続している場合は、ETHERNET ケーブルを抜き、約 10 秒待ってから差し直してください。
- ・ Wi-Fi 接続している場合は、本商品と子機との Wi-Fi 設定をし直して、接続を確立させてください。

その後、再度クイック設定 Web を起動し、「保存」をクリックしてください。

（本商品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。）

なお、「保存」をクリックせず、本商品の電源を OFF したり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

□ 本商品のバージョンを確認したい

クイック設定 Web で確認することができます。
 「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。

らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXに関するトラブル

□ らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX が成功しない

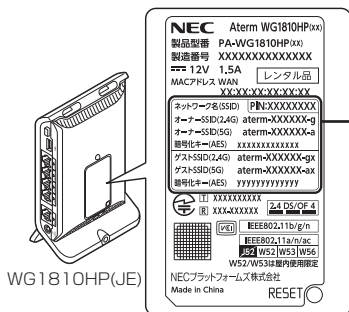
- 本商品の電源が ON になっていることを確認する
 → OFF になっていたら ON にしてください。
 本商品の Wi-Fi 動作モードが、子機の通信可能なモードに対応していることを確認してください。
- 本商品のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている
 → らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん放します。
 手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。
- 本商品の ECO ボタンを押してしまった
 → 誤って ECO ボタンを押してしまうと、ECO モードが起動し、Wi-Fi 通信が利用できなくなってしまう場合があります。(ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他のランプは消灯します。)
 ECO モードを停止する場合は、再度 ECO ボタンを 5 秒以上押してください。
- ドライバが正しく入っていない
 → ご利用の子機の取扱説明書などを参照して、ドライバを正しくインストールしてください。
- らくらく無線スタートEX が正しくインストールされていない
 → サポートページから最新のらくらく無線スタートEX をダウンロードして、インストールしてください。
- 本商品の暗号化が解除されている
 → 本商品の暗号化設定を行ってください。
- 本商品の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている
 → 本商品の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。
- 使用するネットワークに DHCP サーバとなる機器が存在しない
 → DHCP サーバとなる機器を設置してください。
- パソコンでファイアウォール、ウイルスチェックなどが動作している
 → 設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。
- パソコンに設定された固定 IP アドレスが本商品のネットワーク体系とあっていない
 → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(●P31)
- 古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている
 → 古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、サポートページから最新のドライバやユーティリティをインストールしてください。
- 子機の他にネットワークデバイス (LAN ボードなど) が動作している
 → ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合 LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX で設定を行ってください。
- らくらく無線スタートEX の場合、子機専用の設定ユーティリティなどが動作している
 → 子機専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。
- 本商品と子機で使用可能な暗号化モードや暗号強度が一致していない
 → 本商品に子機で使用可能な暗号化モードや暗号強度を設定してください。AES に対応していない子機を利用する場合本商品の設定を変更する必要があります。
- どうしても設定できない場合は、手動で設定してください。Windows 10/8.1/7 および Windows Vista の場合は、「Windows 10/8.1/7 および Windows Vista を「ワイヤレスネットワーク接続」で手動で設定する」(●P2-19) で設定してください。

ご利用開始後のトラブル

- ☐ 時々通信が切れる
- ☐ 途中から通信速度が遅くなった
- ☐ 通信が切断されることがある
 - ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。
- ☐ 使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.10.XXX は、ハードウェアのアドレスが と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された
 - [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで IP アドレスを再取得してください。(●P5-5)
- ☐ 前回はできたのにインターネット接続ができない
 - パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって内部の処理が完了している必要があります。
下記のどちらかの方法で確認してください。
 - a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる
起動後、「IP アドレスの確認方法」(●P2-3)を参照してパソコンの IP アドレスを確認する
 - b. 【IP アドレスの再取得】(●P5-5)を行う
 - ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。
 - ブロードバンドモデム／回線終端装置と本商品の電源投入順序によっては本商品の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがあります。
- ☐ 本商品が正常に動作しないが、原因がわからない
 - 設定に誤りがある場合があります。
どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

□ ネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった

- LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で確認してください。
- 工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は本商品の側面に記載されています。



工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

□ 暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった

- LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で設定を確認してください。
- 工場出荷時の暗号化キーは本商品の側面に記載されています。

□ Wi-Fi 接続の状態が良好なのに通信できない

- 【IP アドレスの再取得】(☛P5-5)を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。
- 固定 IP アドレスでお使いの場合は、本商品と子機に接続しているパソコンのネットワークのアドレス体系を一致させてください。(例：本商品が 192.168.10.1 のとき、子機は 192.168.10.XXX)
- 他の LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。

□ Wi-Fi 接続の状態が良好なのに速度が出ない

- 近くに隣接するチャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。
→クイック設定 Web を起動して「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の「Wi-Fi 機能設定」の「オートチャネルセレクト機能」で「使用する」のチェックを外し、「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の Wi-Fi 機器が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。
- 本商品と子機が近すぎる
→ 1m 以上離してください。

□ AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛んだりする

- Wi-Fi 接続の状態が悪い (本商品との距離が離れすぎている)
→電波状態が良好となるところに移動してください。
- 電波干渉がある
→チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。(☛上記)
- AV サーバのレート走低品質に下げてください。

□ 無線 LAN プリンタで印刷できない

- 無線 LAN プリンタを共有したい場合は、無線 LAN 内蔵パソコンと同一のネットワーク名 (SSID) に接続してください。

□ TV ランプが点灯しない

- 本商品が TV モードになっていない

→ 本商品は、下記いずれかの場合に TV モードとなり、TV ランプが点灯します。

- a. クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で、[TV モード] を「使用する」に設定した場合
- b. クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で、[TV モード] を「自動」に設定したうえで、TV モードに対応した機器と Wi-Fi 接続した場合

□ TV の画像が途切れる

- TV を見るための十分なスループットが得られていない

→ 本商品と子機を近づけてみてください。

□ 本商品のバージョンを確認したい

- 次の方法で確認できます。

・ クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

□ ECO ボタンを押しても ECO モードにならない

- ECO ボタンが無効 (ECO モードを起動できない状態) になっている

→ クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」の [ECO 機能] を [通常 ECO] に設定してください。



6



メンテナンス

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本商品に新しい機能を追加したり、場合によっては操作を改善したりします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に本商品の電源を切らないでください。
- 本商品では、電源を入れて起動した際に、ファームウェアのバージョンアップ情報を確認して、バージョンアップの必要性が極めて高いファームウェアのみ、自動的にバージョンアップを行う機能があります。
バージョンアップ中は、POWER ランプが橙点灯しますので、絶対に本商品の電源を切らないよう、ご注意ください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアをバージョンアップする場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- ファームウェアのワンタッチバージョンアップ（☛ 下記）
- 自動更新（オンラインバージョンアップ）（☛P6-3）
- 時刻指定バージョンアップ（☛P6-4）
- ファームウェアをダウンロードして、バージョンアップする（☛P6-5）

ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、サポートページに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のメニュー画面に【ファームウェア更新】のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※本機能は、常に本商品の電源が ON になっており、かつインターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。

本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。



お知らせ

- バージョンアップには、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップするメンテナンスバージョンアップ機能もあります。（☛P5）
- ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示にしたがって、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページの URL がホスト名の場合のみです。）
表示される例：http://www.biglobe.ne.jp/
表示されない例：http://www.biglobe.ne.jp/xxx_XXX

自動更新（オンラインバージョンアップ）

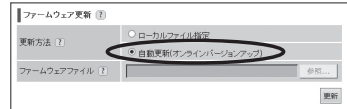
クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。

※ 本機能は、インターネットに接続できている必要があります。

1 クイック設定 Web を起動する（●P2-4）

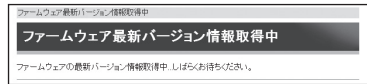
2 「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択する

3 「更新方法」で「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する



4 「更新」をクリックする

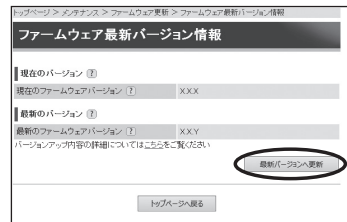
5 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



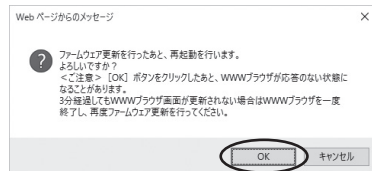
本商品の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

6 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、「最新バージョンへ更新」をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



7 「OK」をクリックする



6

メンテナンス

(次ページに続く)

8

しばらくすると、画面に「ファームウェア更新中です。X 分ほどお待ちください。」と表示される



本商品の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

9

[OK] をクリックする



時刻指定バージョンアップ

クイック設定 Web で時刻を設定しておけば、定期的にファームウェアのバージョンアップ情報を確認し、設定時刻から 30 分以内に、自動的にファームウェアをバージョンアップすることができます。

以下の手順で設定します。

1

クイック設定 Web を起動する (➡P2-4)

2

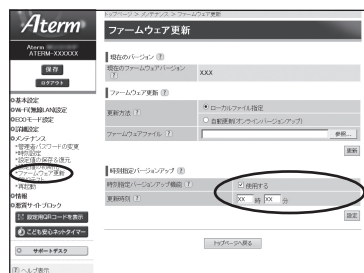
「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択する

3

「時刻指定バージョンアップ」の「時刻指定バージョンアップ機能」の「使用する」にチェックを入れる

4

バージョンアップの時刻を設定する



5

「設定」をクリックする

6

「保存」をクリックする

ファームウェアをダウンロードして、バージョンアップする

サポートページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

- 1 サポートページにアクセスする
- 2 [WG1810HP (JE)] をクリックする
- 3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して初期値にすることをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、本商品を初期化して最初から設定し直すことをお勧めします。

※ 初期化してもお客様がバージョンアップしたファームウェアは、お客様がバージョンアップしたバージョンのままとなります。

本商品を初期化する場合、以下のいずれかの方法で行ってください。

※ 初期化の際は、P6-7の「お願い」も参照してください。

- クイック設定 Web で初期化する (➡ 下記)
- RESET スイッチで初期化する (➡ P6-7)

クイック設定 Web で初期化する

1 クイック設定 Web を起動する (➡ P2-4)

2 「メンテナンス」－「設定値の初期化」を選択する

3 「設定値の初期化」をクリックする



4 [OK] をクリックする

本商品が再起動します。

※ 本商品の前面ランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。

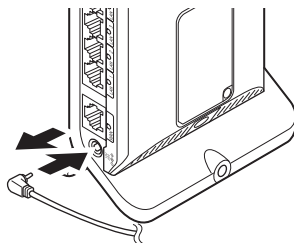
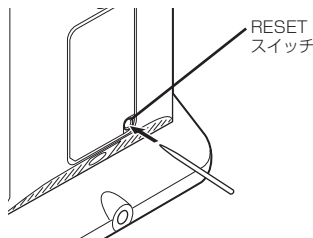


お知らせ

- クイック設定 Web による初期化を行った場合、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス (192.168.10.1) で、クイック設定 Web 画面が開く場合があります。Internet Explorer をご利用で「JavaScript 無効」と表示されて画面が開かない場合は、いったん画面を閉じて開き直すか、「JavaScript の設定を確認する」(➡ P34) を参照して、インターネットオプションの設定を変更してください。

RESET スイッチで初期化する

- 1 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する
電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、40 秒ほどお待ちください。
- 2 本商品の側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたらず
POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～10 秒かかります。
- 3 本商品から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから再び差し込み、1 分ほど待つ
※本商品の前面ランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。



以上で初期化は完了です。

お願い

- 初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本商品は工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品側面のラベルに記載）になります。工場出荷時の暗号化設定を変更して使用している場合は、初期化する前にクイック設定 Web の [メンテナンス] - [設定値の保存&復元] にて現在の設定内容を保存し、初期化後に同設定画面にて復元することをお勧めします。



7



付録

7

ハードウェア仕様

項 目		諸元および機能		備 考
WAN インタ フェース	物理 インタフェース	8 ピンモジュージャック (RJ-45) × 1 ポート		
	インタフェース	WAN ポート 1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-Te * 1		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps * 1		自動認識 / 固定モード
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8 ピンモジュージャック (RJ-45) × 4 ポート		スイッチング HUB × 4 ポート
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-Te * 1		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps * 1		自動認識
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
USB インタ フェース	物理 インタフェース	USB2.0 × 1 ポート USB Bus Power 対応		High Speed (480Mbps) Full Speed (12Mbps) Low Speed (1.5Mbps)
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11ac	周波数帯域 / チャンネル	[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [VHT20] 56、[VHT40] 114、 [VHT80] 242 MIMO (空間多重) 方式	
		伝送速度*2	最大 1300Mbps (VHT80 の場合) *3 (自動フォールバック)	

項 目		諸元および機能		備 考
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) : 1 ~ 13ch	
			[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114 MIMO (空間多重) 方式	
		伝送速度 *2	2.4GHz 帯 最大 450Mbps (HT40 の場合) *4 5.2GHz 帯 (W52) 5.3GHz 帯 (W53) 5.6GHz 帯 (W56) 最大 450Mbps (HT40 の場合) *4 (自動フォールバック)	
	IEEE802.11a	周波数帯域 / チャンネル	[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 *2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) : 1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 *2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	

項 目			諸元および機能		備 考
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11b		周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) : 1 ～ 13ch	
			伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
			伝送速度 *2	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ		5GHz : 送信 3 × 受信 3 2.4GHz : 送信 3 × 受信 3 (内蔵アンテナ)		
セキュリティ		SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP (128bit)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) ※ WEP は WEP 専用 SSID のみサポート ※ IEEE802.11ac、IEEE802.11n では WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (AES) のみの対応			
ヒューマ ンインタ フェース	状態表 示ラ ンプ	POWER	電源通電状態表示		
		ACTIVE	ネット通信状態表示		
		2.4GHz	2.4GHz モード Wi-Fi 通信状態表示		
		5GHz	5GHz モード Wi-Fi 通信状態表示		
		TV	TV モード通信状態表示		
		WAN	リンク確立状態表示		
		LAN1 ～ 4	リンク確立状態表示		
	スイッチ		ECO ボタン× 1 らくらくスタートボタン× 1 RESET スイッチ× 1		
動作保証環境			温度 0 ～ 40℃ 湿度 10 ～ 90%	結露しないこと	
外形寸法			約 33 (W) × 111 (D) × 170 (H) mm	突起部除く	
電源			AC100V ± 10% 50/60Hz	AC アダプタ使用	
消費電力			17W (最大)		
質量 (本体のみ)			約 0.4kg	AC アダプタを除く	
VCCI			VCCI クラス B		

- * 1 : 本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps もしくは 100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。
- * 2 : 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- * 3 : ご利用環境によっては、VHT80/VHT40/VHT20 モードが自動で切り替わるため、クワッドチャンネルを「使用する」に設定しても、VHT20 など接続する場合があります。
- * 4 : ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャンネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。

本商品のマニュアルで使用している用語について解説します。
別名で呼ばれている場合もありますので、その例も記載しています。

※用語は、あいうえお順／アルファベット順で並んでいます。

マニュアルで 使用している用語	説明	別名例
暗号化キー	Wi-Fi セキュリティを高めるための暗号化を行う鍵のこと。	セキュリティキー パスフレーズ ネットワークキー パスワード WEP キー
本商品	無線 LAN アクセスポイントのこと。 無線 LAN アクセスポイントとは、無線 LAN 端末を接続するための電波を中継する機器を指す。 本商品 WG1810HP (JE) は、ルータ機能を搭載した無線 LAN アクセスポイント。	無線 LAN アクセスポイント 無線 LAN 親機
子機	無線 LAN 端末のこと。 パソコンに装着して Wi-Fi 接続機能を提供するアダプタや、Wi-Fi 接続機能を内蔵したパソコンなどの端末を指す。	無線 LAN 端末 無線 LAN 子機
回線終端装置	FTTH など広帯域で高速な通信を提供する回線・サービスに接続するために、コンピュータの信号と回線の信号を通信可能な信号に変換する装置。	FTTH 回線終端装置
ブロードバンド モデム		
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。	
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。	
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り振る方法。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。	
DNS	Domain Name System の略。 ドメイン名と IP アドレスを関連付けているシステム。これによりドメイン名で宛先指定しても通信可能となる。	
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	Wi-Fi 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID) がある。このネットワーク名 (SSID) が一致しないと Wi-Fi 通信ができない。一般にネットワーク名 (SSID) は検索することができるが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に回答しないようにすることができる。	ANY ブローブ応答禁止 SSID の隠蔽
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバーを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。	

マニュアルで 使用している用語	説明	別名例
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例：192.168.10.10）。	
LAN	Local Area Network の略。 本書では、本商品の宅内側（パソコンなどを接続している側）を LAN 側と呼ぶ。	
PPPoE	PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。	
WAN	Wide Area Network の略。 本書では、本商品のインターネット側（インターネットに接続している回線側）を WAN 側と呼ぶ。	
Wi-Fi	Wi-Fi 機器の相互接続性を、米国の業界団体 Wi-Fi Alliance が認証したことを示す名称。 本書では無線 LAN のことを示す。無線 LAN とは、無線を使用した LAN のことで、規格として、「IEEE802.11ac」「IEEE802.11n」「IEEE802.11a」「IEEE802.11g」「IEEE802.11b」などがある。	無線 LAN ワイヤレス LAN

マークの付いた項目については、下記を参照してください。

- ・ ㊦：「つなぎかたガイド」
- ・ ㊧：「ユーザズマニュアル」

[数字]

2.4GHz ランプ	27、28
5GHz ランプ	27、28

[A ～ Z]

ACTIVE ランプ	27
AC アダプタ接続コネクタ	29
AES	3-4
DHCP クライアント機能	7-5
DHCP サーバ機能	7-5、㊧
ECO 設定パターン	4-16
ECO ボタン	27、28、4-17
ECO モード	4-16
ESS-ID ステルス機能	
(SSID の隠蔽)	3-5、7-5、㊧
IP パケットフィルタリング	4-26、㊧
JavaScript	34
LAN 側ジャンボフレーム	
透過機能	4-26、㊧
LAN ポート	29
LAN ランプ	29
MAC アドレス	
～フィルタリング機能	3-6、㊧
PIN 方式	2-17
POWER ランプ	27
PPPoE ブリッジ	4-25、㊧
RESET スイッチ	29、6-7
SSID	2-6
SSID の隠蔽	7-5
TKIP	3-4
TV 電話	26
TV モード	24、㊧
TV ランプ	27、28
USB カメラ機能	4-12
USB ファイル HTTP 公開機能	
(ブラウザファイル共有機能)	4-9、㊧
USB ポート	29、4-2、㊧
WAN ポート	29
WAN ランプ	29
WEP	3-4、㊧
WEP キー	7-5

Wi-Fi	7-6
Wi-Fi 通信	20、21
WoL (Wake on LAN) 機能	26
WPS 機能	2-17
WWW ブラウザの設定	33

[ア行]

悪質サイトブロック機能	3-8
暗号化	3-4
安全にお使いいただくために	
必ずお読みください	6
オート ECO モード機能	4-19
オートチャンネルセレクト機能	21、㊧
置き場所を決める	1-2

[カ行]

各部の名称とはたらき	27
管理者パスワード	2-4
クイック設定 Web	2-2
～で初期化する	6-6
～の起動のしかた	2-4
～の使いかた	2-2
クワッドチャンネル機能	21
ゲーム機を接続する	2-9
子機	7-5
「こども安心ネットタイマー」機能	4-20
個別にブロックレベルを設定する	
(ブロック対象管理)	3-11


[サ行]

初期化	6-6
製品仕様	7-2
セキュリティ対策	3-2、㊧
接続する	
iPad/iPhone/iPod touch から～	2-11
Wi-Fi 対応のゲーム機から～	2-9
設置する	1-2
壁掛けの場合	1-5
スタンドを付ける	1-4
設置に関するトラブル	5-2

設定

Wi-Fi を～	2-6
設定値の初期化	6-6
全体ルールを設定する	3-13


【タ行】

できること	19
デュアルチャネル機能	21、 
トラブルシューティング	5-2

【ナ行】

ネットワークゲーム	26
ネットワーク分離機能	3-7
ネットワーク名 (SSID)	2-6

【ハ行】

バージョンアップ	6-2
はじめに (マニュアル構成)	2
パソコンのネットワークの確認	31
ファームウェア更新	6-2
ファイアウォール	30、5-4、5-6、5-9
ファミリースマイル機能	3-8、 
ブロック画面の一時解除方法	3-16
ブロックレベルカスタム設定	3-14
プロバイダ	30
ポップアップヘルプ	2-5
本商品	7-5



【マ行】

マルチ SSID	2-7
無線 LAN アクセスポイント	7-5
無線 LAN 端末	7-5
メディアサーバ機能	4-7
メンテナンスバージョンアップ機能に関する 許諾について	5
～の停止方法	5
目次	16

【ヤ行】

ユーザーズマニュアル	2
ユーティリティに関するトラブル	5-8

【ラ行】

らくらく QR スタート	2-13、 
らくらく「かざして」スタート	2-13、 

らくらくスタートボタン	27、28
らくらく無線スタート	2-16
らくらく無線スタート EX	2-16
ランプ表示	27
例外サイト	3-15

【ワ行】

ワイヤレスネットワーク接続	2-19
---------------	------

よくあるお問い合わせ

本商品の接続や設定について、よくあるお問い合わせ内容をまとめました。
お問い合わせの前にご確認ください。

No.1 設定は完了したが、インターネットに接続できない

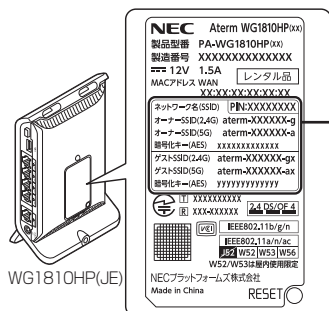
- 本商品に接続したブロードバンドモデムの電源入れ直しをしましたか
→ 「トラブルシューティング」の「ACTIVE ランプが緑点灯しない」の「●他のブロードバンドルータやパソコンに・・・」(●P5-7)

No.2 インターネットに突然接続できなくなった

- POWER ランプが緑点滅し、他のランプが消灯していませんか
→ ECO モードが起動されていると、Wi-Fi 通信が利用できなくなる場合があります。
また、LAN ポートの通信速度が 100Mbps 以下で動作します。(●P4-16)

No.3 ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンと接続できない

- ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンのメーカーから、本商品の設定情報が必要と言われた
→ 本商品の工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、本商品の側面に貼ってあるラベルに記載されています。



工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※ 上記を参照しても設定できない場合は、ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンのメーカーへお問い合わせください。

- Wi-Fi 設定中、セキュリティ キーまたはパスフレーズの入力画面が出てきたが、何を入力すればよいかわからない
→ 本商品の暗号化キーを入力します。本商品の工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面に貼ってあるラベルに記載されています。(● 上記)
- 設定方法がわからない
→ Windows 8.1/7 および Windows Vista の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」で設定してください。(●P2-19)
なお、本商品の工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、側面に貼ってあるラベルに記載されています。(● 上記)


No.4 新しいパソコン (2 台目以降) を購入した

- 設定方法がわからない
→ 「つながりかたガイド」の STEP2 「Wi-Fi 接続しよう」 参照

MEMO

MEMO

● 本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品で使用しているソフトウェアのライセンス条項は、サポートページに公開されている「 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社はいっさい責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取ください。

ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまえば能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

